

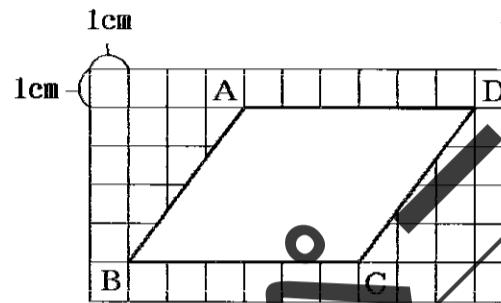
# 平行四辺形の面積

P.4~P.7 の 3 行目

④ さっそく、きょうの学習にはいろう。

## □ 平行四辺形の面積の求め方 □

右の図のような平行四辺形 A B C D の面積を  
求めなさい。

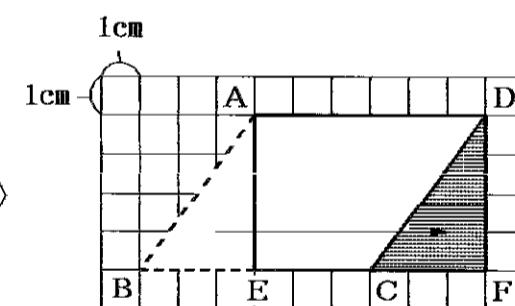
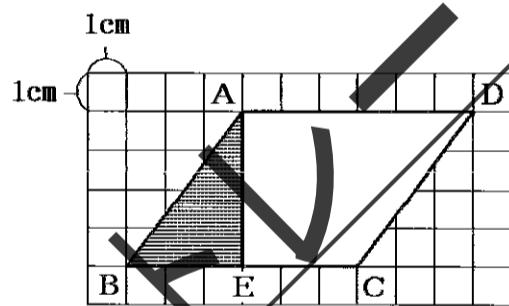


## 説明

- 次のようにすれば、平行四辺形 A B C D の面積を変えないで、長方形に直すことができます。

① 頂点 A から辺 B C に垂直な線をひき、交わった点を E とします。

② 平行四辺形 A B C D を線 A E で切ってできる三角形 A B E を右下の図のようにずらすと、長方形ができます。



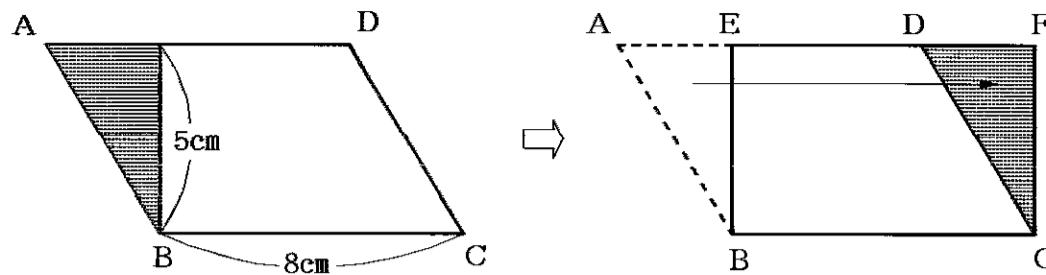
- 平行四辺形 A B C D の面積は、たて 4 cm、横 6 cm の長方形 A E F D の面積と同じですから、次のようになります。

$$4 \times 6 = 24$$

答え  $24\text{cm}^2$

① (1001) P.4~P.7 の 3 行目

面積を変えないで、平行四辺形 A B C D を長方形 E B C F に直しました。



(1) 長方形EBCFのたて、横の長さは何cmですか。

① たて [ ]

② 横 [ ]

(2) 長方形EBCFの面積を求めなさい。

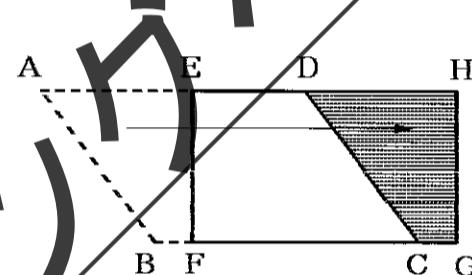
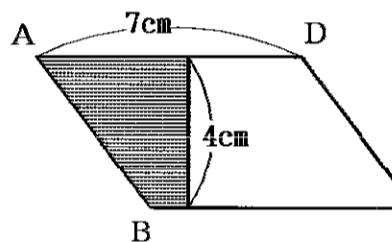
(式)

(3) 平行四辺形ABCDの面積は何 $\text{cm}^2$ ですか。

答え [ ]

## 2 (1002) P.4~P.7 の3行目

面積を変えないで、平行四辺形ABCDを長方形EFGHに直しました。



(1) 平行四辺形ABCDの面積は、たて、横の長さがどんな長さの長方形の面積と同じですか。

[ ]

(2) 平行四辺形ABCDの面積は何 $\text{cm}^2$ ですか。

(式)

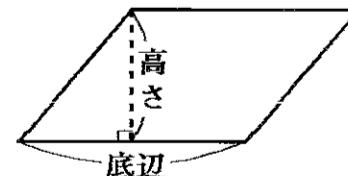
答え [ ]

□ 平行四辺形は長方形に直して考えれば、面積は求められることがわかったね。ここで、答え合わせをしよう。

□ 新しいことばを覚えるよ。

**学習**

平行四辺形の1つの辺を底辺とすると、その辺と、それに平行な辺との間の垂直な直線の長さを高さといいます。

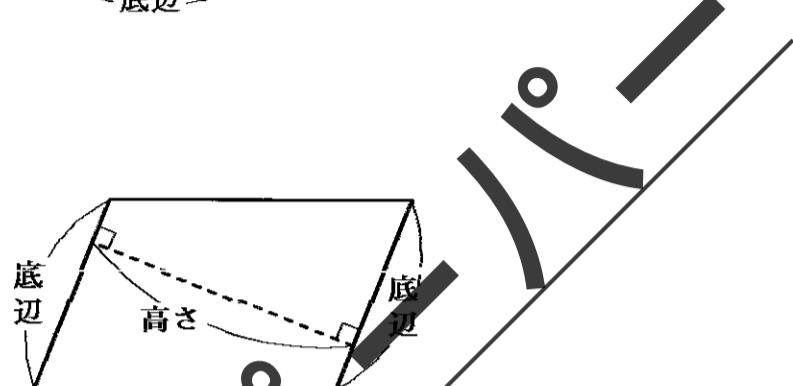
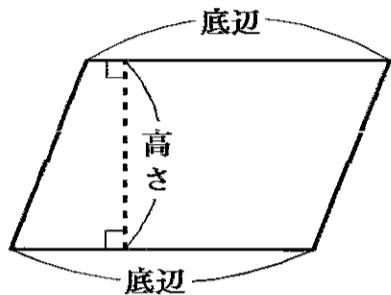
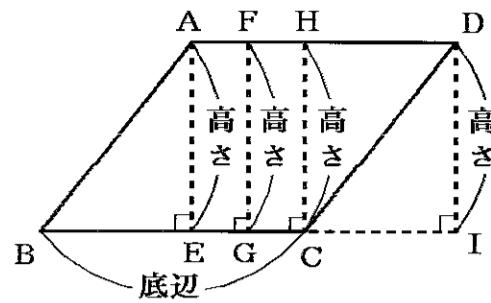


- 右の平行四辺形  $A B C D$  で、辺  $B C$  を底辺とすると

直線  $A E, F G, H C, D I$   
の長さはどれも高さになります。

平行四辺形の向かい合った2つの辺は平行ですから、高さはどこにとっても同じ長さです。

- 平行四辺形は、どの辺も底辺とみることができます。そのときの高さは、底辺のとり方によって決まります。



### 蝶々トレーニング

### 類題 6970

- 3 (1003) ⇨ 類題 6970 P.4~P.7 の3行目

右の図の平行四辺形で、次の辺を底辺とするとき、高さはどこになりますか。

(1)  $A B$

[ ]

(2)  $B C$

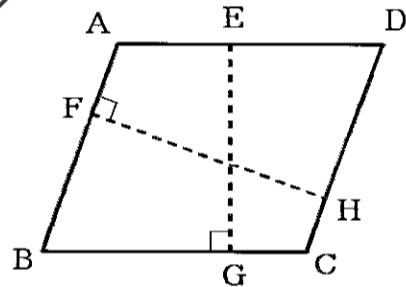
[ ]

(3)  $A D$

[ ]

(4)  $C D$

[ ]

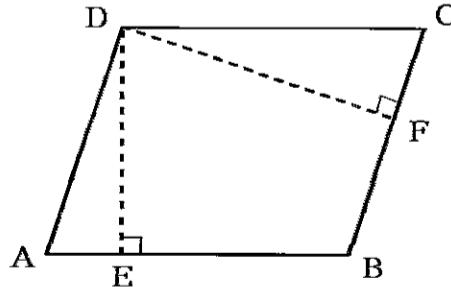
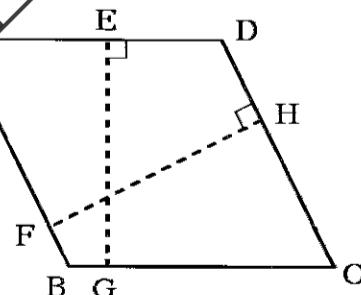


- 4 (1004) ⇨ 類題 6970 P.4~P.7 の3行目

次の平行四辺形で、辺  $B C$  を底辺とするとき、高さはどこになりますか。

(1)

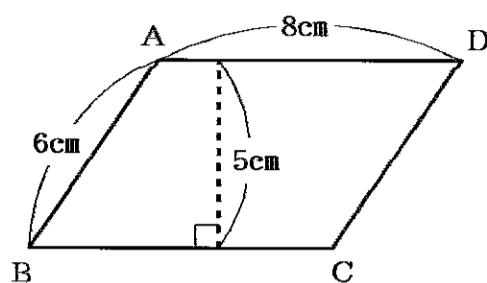
(2)



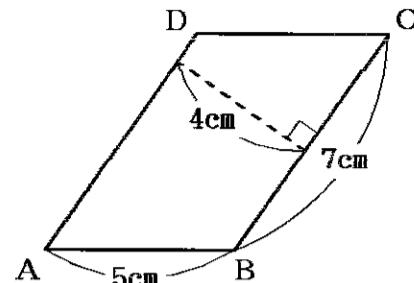
5 (1005) ⇨類題6970 P.4~P.7の3行目

次の平行四辺形で、辺BCを底辺とするとき、高さは何cmになりますか。

(1)



(2)



[ ]

[ ]

④ 答え合わせをしてから、次のトレーニングをやろう。

6 (1006) ⇨類題6970 P.4~P.7の3行目

面積を変えないで、平行四辺形ABCDを長方形EBCFに直しました。

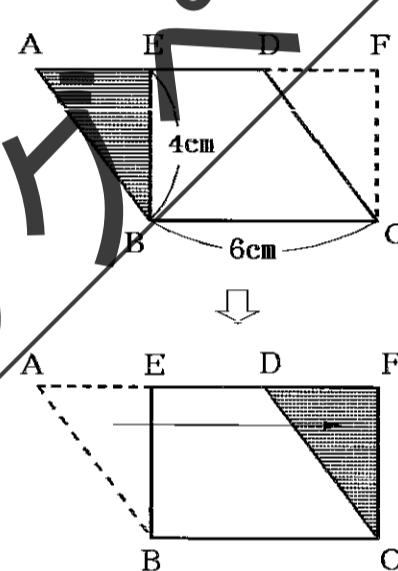
(1) 長方形EBCFのたての長さ、横の長さは、それぞれ平行四辺形の何の長さと同じですか。また、何cmですか。

① たて [ ]

② 横 [ ]

(2) 平行四辺形ABCDの面積は、何cm<sup>2</sup>ですか。  
(式)

答え



④ 平行四辺形の面積は、面積を変えないで直した長方形のたてと横の長さの積で求められたね。

長方形のたての長さと横の長さは、それぞれ平行四辺形の高さと底辺の長さと同じだから、平行四辺形の面積を求める公式は、次のようになるよ。

~~数学~~

平行四辺形の面積は、次の公式で求められます。

平行四辺形の面積 = 底辺 × 高さ

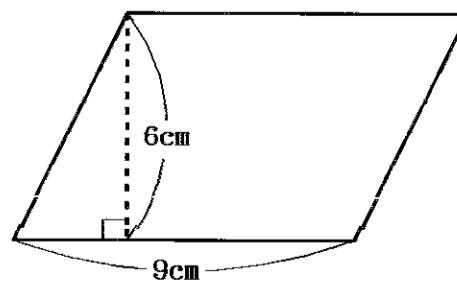
右の図の平行四辺形は

底辺……9cm、高さ……6cm

ですから、面積は

$$9 \times 6 = 54$$

より、54cm<sup>2</sup>になります。



 面積の単位に気をつけて、平行四辺形の面積を求めていこう。

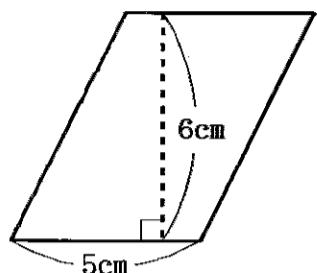
## トレーニング

類題 6980

7 (1007) ⇨ 類題 6980 P.4~P.7 の 3 行目

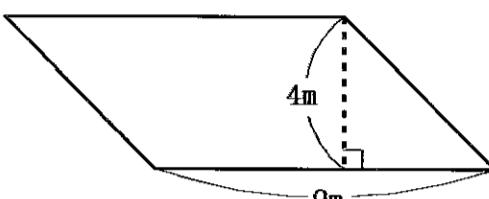
次の平行四辺形の面積を求めなさい。

(1)



(式)

(2)

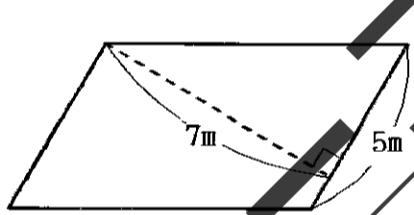


(式)

8 (1008) ⇨ 類題 6980 P.4~P.7 の 3 行目

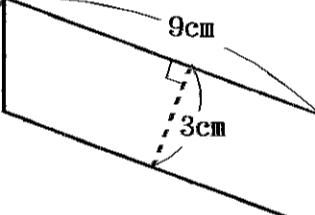
次の平行四辺形の面積を求めなさい。

(1)



(式)

(2)



(式)

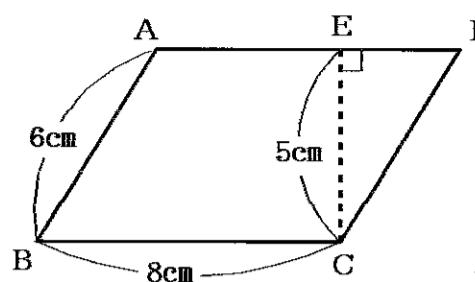
 平行四辺形の面積を求める公式に当てはめればかんたんだね。ここで、答え合わせをしておこう。

9 (1009) ⇨ 類題 6980 P.4~P.7 の 3 行目

次の平行四辺形で、辺BCを底辺とするとき、高さはどこになりますか。

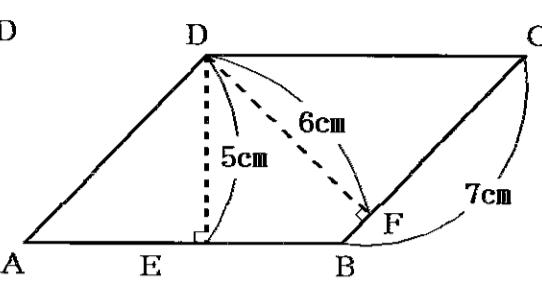
また、平行四辺形の面積は、何  $\text{cm}^2$  ですか。

(1)



高さ……  
(式)

(2)



高さ……  
(式)

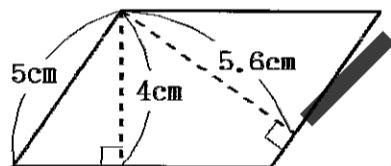
答え \_\_\_\_\_

答え \_\_\_\_\_

⑩ 高さがどこになるかをまちがえないようにね。  
答え合わせをしてから、次に進もう。

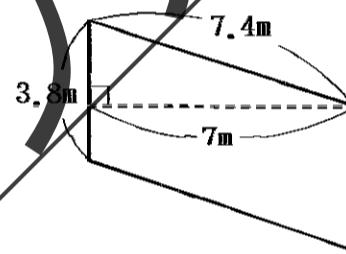
⑩ (1010) ⇨類題 6980 P.4~P.7 の 3 行目  
次の平行四辺形の面積を求めなさい。

(1)



(式)

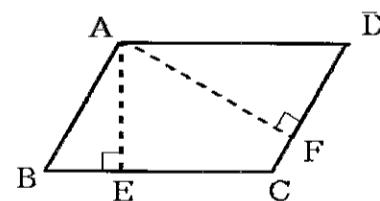
(2)



(式)

答え \_\_\_\_\_

⑪ 右の図の平行四辺形では  
辺ABを底辺とすると、高さはFA  
辺BCを底辺とすると、高さはAE  
となるね。  
このことを頭に入れて、次のトレーニングをやって  
みよう。

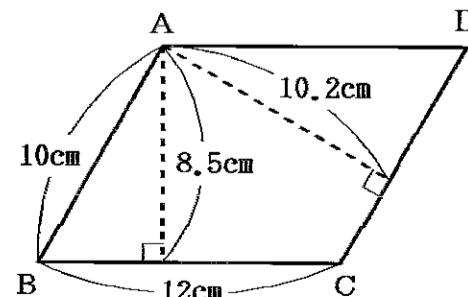


⑪ (1011) ⇨類題 6980 P.4~P.7 の 3 行目  
次の平行四辺形の面積を2とおりのしかたで求めなさい。

(1) 辺ABを底辺としたとき  
(式)

答え \_\_\_\_\_

(2) 辺BCを底辺としたとき  
(式)



答え

図 辺ABを底辺と考えても、辺BCを底辺と考えても、面積は同じになるね。

ここで、答え合わせをしておこう。まちがったところは、そのままにしておかないのでちゃんと直しておこうね。

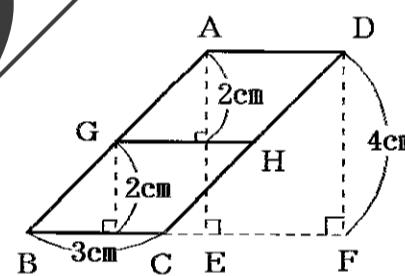
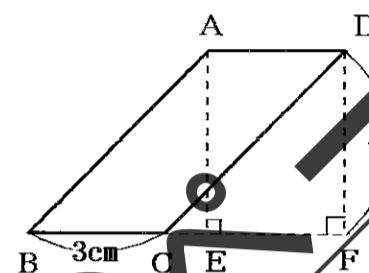


# いろいろな平行四辺形の面積

P.7 の 4 行目～P.8

④ さっそく、きょうの学習を始めよう。

~~~~~□ 平行四辺形の面積の求め方 □~~~~~  
右の図のような平行四辺形 A B C D の面積を求めなさい。



## 説明

- 右の図のように、平行四辺形 A B C D を  
平行四辺形 A G H D と平行四辺形 G B C H  
の2つに分けます。

それぞれの面積を計算すると

$$\text{平行四辺形 } A G H D \cdots 3 \times 2 = 6 \text{ より}$$

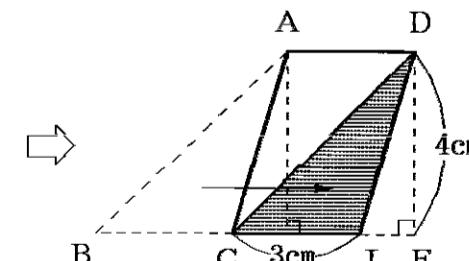
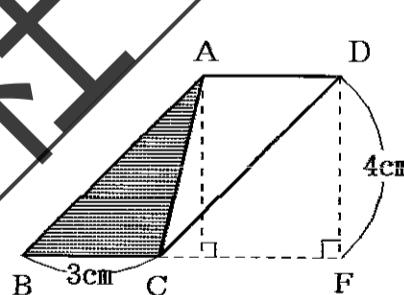
$$\text{平行四辺形 } G B C H \cdots 3 \times 2 = 6 \text{ より}$$

です。平行四辺形 A B C D の面積は、平行四辺形 A G H D の面積と平行四辺形 G B C H の面積の和で求められます。

$$6 + 6 = 12$$

答え  $12 \text{ cm}^2$

- 平行四辺形 A B C D を対角線 A C で切り、下の図のように三角形 A B C をずらすと、面積を変えないで、平行四辺形 A B C D を平行四辺形 A C I D に直すことができます。



平行四辺形 A B C D の面積は、平行四辺形 A C I D の面積からも求められます。

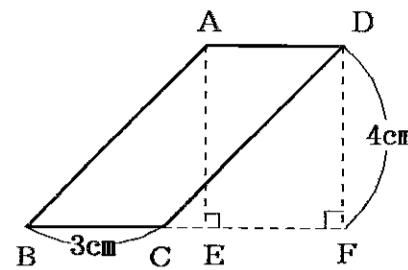
$$3 \times 4 = 12$$

答え  $12 \text{ cm}^2$

- 平行四辺形 A B C D で、辺 B C を底辺、直線 D F の長さを高さとして、公式に当てはめて面積を計算すると、次のようにになります。

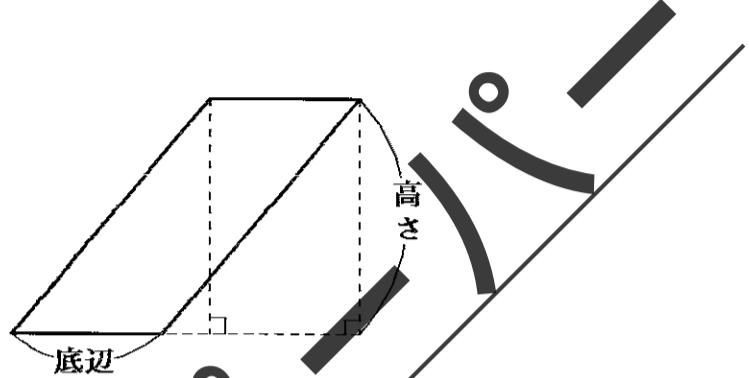
$$3 \times 4 = 12 \quad \text{答え } 12\text{cm}^2$$

- これは前に求めた面積と同じになっていますね。



- ですから、右の図のような平行四辺形でも、面積を求めるのに

平行四辺形の面積 = 底辺 × 高さ  
の公式を使うことができます。

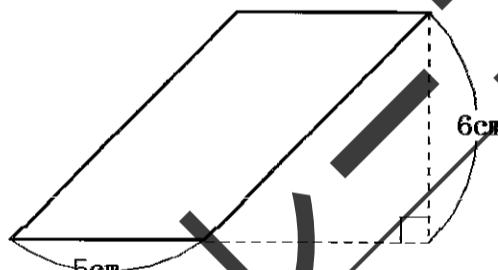


さあ、トレーニングをしていこう。

### → ト レ ー ニ ン グ ←

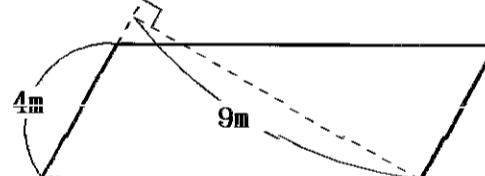
- 1 (1012) → 類題 6990 P.7 の 4 行目～P.8  
次の平行四辺形の面積を求めなさい。

(1)



(式)

答え \_\_\_\_\_



(式)

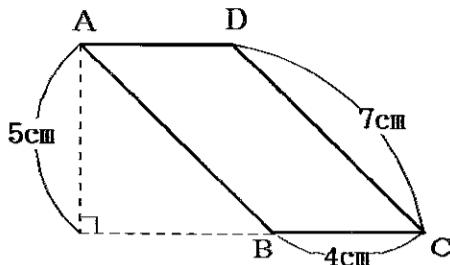
答え \_\_\_\_\_

- 2 (1013) → 類題 6990 P.7 の 4 行目～P.8

次の平行四辺形で、辺 B C を底辺とするとき、高さは何 cm になりますか。

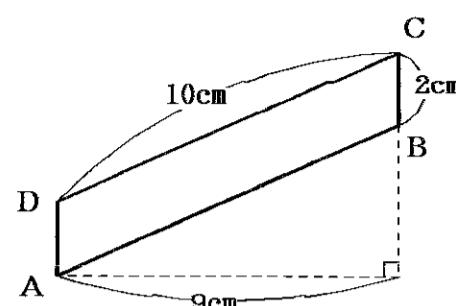
また、面積は何  $\text{cm}^2$  ですか。

(1)



高さ……[  
(式)]

(2)



高さ……[  
(式)]

答え \_\_\_\_\_

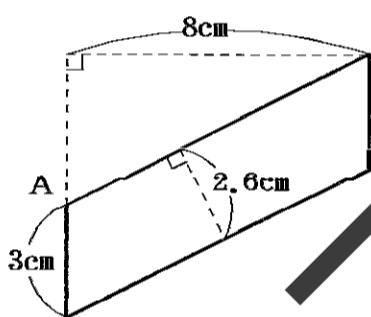
答え \_\_\_\_\_

② 高さをまちがえなかったね。次の問題もどこが高さになるかをよく考えて、面積を計算しよう。

③ (1014) ⇨類題 6990 P.7 の 4 行目～P.8

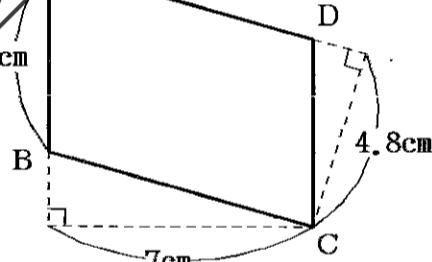
次の平行四辺形で、辺ABを底辺とするとき、高さは何cmになりますか。  
また、面積は何cm<sup>2</sup>ですか。

(1)



高さ……[  
(式)]

(2)



高さ……[  
(式)]

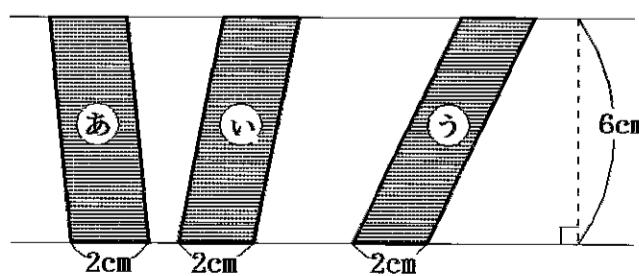
答え \_\_\_\_\_

④ 答え合わせをしてから、次のトレーニングをやろう。

④ (1015) ⇨類題 6990 P.7 の 4 行目～P.8

右の図の 3 つの平行四辺形Ⓐ, Ⓛ, Ⓜ の面積を求めなさい。

(式)



答え \_\_\_\_\_

**四** ④, ⑤, ⑥はそれぞれまったくちがう形の平行四辺形だけど、底辺の長さと高さが同じになっているから、面積も同じになるんだよ。  
つまり、底辺が2cm、高さが6cmの平行四辺形の面積は、どんな形をしていても  
 $2 \times 6 = 12$  答え  $12\text{cm}^2$   
のように求められるんだよ。

### 5 (1016) ⇒類題 6990 P.7 の4行目～P.8

底辺、高さが次のようになっている平行四辺形の面積を求めなさい。

(1) 底辺 13cm, 高さ 9cm  
(式)

(2) 底辺 14m, 高さ 15m  
(式)

(3) 底辺 8.4cm, 高さ 4.5cm  
(式)

(4) 底辺 30m, 高さ 10.8m  
(式)

(5) 底辺 7.8cm, 高さ 2.5cm  
(式)

(6) 底辺 6.8m, 高さ 12.5m  
(式)

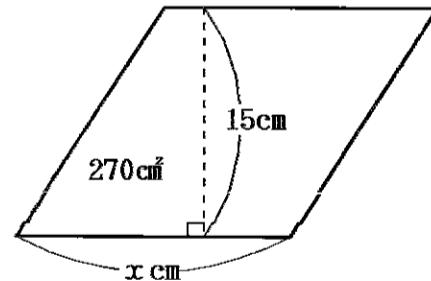
**四** さあ、答え合わせをしよう。

**四** 平行四辺形の面積の求め方はもう覚えたね。今度は、面積と高さがわかっているときの底辺の長さを求めたり、面積と底辺の長さがわかっているときの高さを求めたりするよ。しっかりと学習して、自分のものにしようね。

#### 平行四辺形の底辺の長さを求める

右の図のような、高さが15cmで、面積が $270\text{cm}^2$ の平行四辺形があります。

底辺の長さを  $x\text{ cm}$  として式をつくり、底辺の長さを求めなさい。



#### 説明

底辺の長さを  $x\text{ cm}$  として、平行四辺形の面積の公式に当てはめると、次のようになります。

$$\text{底辺} \times \text{高さ} = \text{平行四辺形の面積}$$

$$x \times 15 = 270$$

- $x \times 15 = 270$  の  $x$  に当てはまる数から、底辺の長さを求めます。

$$x \times 15 = 270$$

$$x = 270 \div 15$$

$$x = 18$$

答え  $18\text{cm}$

## 6 (1017) ⇨類題 7000 P.7 の 4 行目～P.8

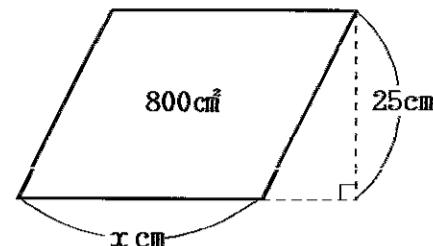
右の図のような、高さが 25cm で、面積が  $800\text{cm}^2$  の平行四辺形があります。

- (1) 底辺の長さを  $x\text{ cm}$  として、式をつくりなさい。

[ ]

- (2) 底辺の長さを求めなさい。

(式)



答え \_\_\_\_\_

③ さあ、今度は高さを求めよう。

## 7 (1018) ⇨類題 7000 P.7 の 4 行目～P.8

右の図のような、底辺が 6 cm で、面積が  $120\text{cm}^2$  の平行四辺形があります。

- (1) 高さを  $x\text{ cm}$  として、式をつくりなさい。

[ ]

- (2) 高さを求めなさい。

(式)

答え \_\_\_\_\_

④ どんどんトレーニングしていこう。

## 8 (1019) ⇨類題 7000 P.7 の 4 行目～P.8

次の長さを求めなさい。

- (1) 面積が  $56\text{cm}^2$  で、底辺が 8 cm の平行四辺形の高さ  
(式)

答え \_\_\_\_\_

- (2) 面積が  $555\text{m}^2$  で、高さが 37 m の平行四辺形の底辺の長さ  
(式)

答え \_\_\_\_\_

- (3) 面積が  $17.1\text{m}^2$  で、底辺が 4.5 m の平行四辺形の高さ  
(式)

答え \_\_\_\_\_

- (4) 面積が  $57\text{cm}^2$  で、高さが 7.5 cm の平行四辺形の底辺の長さ  
(式)

答え \_\_\_\_\_

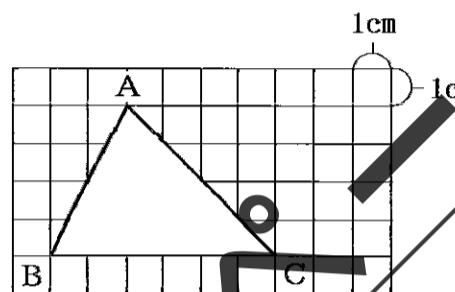
⑤ 底辺の長さや高さを求めるのは、かんたんだったね。

# 三角形の面積

P.9~P.11 の 4 行目

きょうは三角形の面積を求めよう。

右の図のような三角形ABCの面積を求めなさい。



## 説明

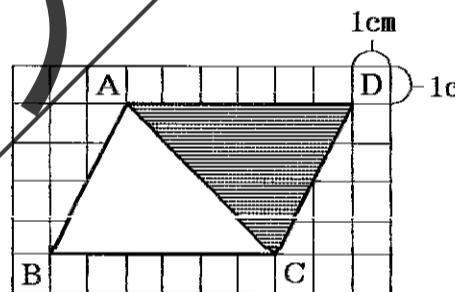
- 三角形ABCと合同な三角形を右の図のようにならべると、平行四辺形ABC'D'ができるから、三角形ABCの面積を求めます。

平行四辺形ABC'D'の面積は

三角形ABCの面積の2倍  
ですから、三角形ABCの面積は次のように求めることができます。

$$6 \times 4 \div 2 = 12$$

答え  $12\text{cm}^2$



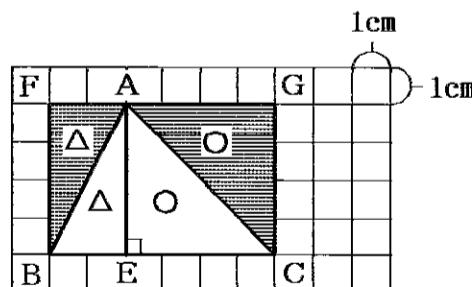
- 三角形ABCを、右の図のように直角三角形ABEと直角三角形ACEの2つに分けて、三角形ABCの面積を求めます。

長方形FBEAの面積は

直角三角形ABEの面積の2倍  
で、長方形GCEAの面積は  
直角三角形ACEの面積の2倍  
ですから、長方形FBCGの面積は  
三角形ABCの面積の2倍  
になります。

このことから、三角形ABCの面積は、次のように求めることができます。

$$4 \times 6 \div 2 = 12$$



答え  $12\text{cm}^2$

トレーニング

1 (1020) P.9~P.11 の 4 行目

三角形ABCと合同な三角形を、右の図のようにならべました。

(1) どんな四角形ができましたか。

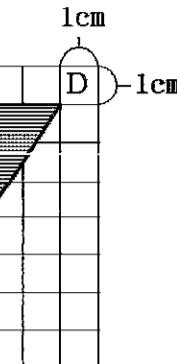
[ ]

(2) 四角形ABCDの面積を求めなさい。

(式)

答え

(3) 四角形ABCDの面積は三角形ABCの面積の何倍ですか。



(4) 三角形ABCの面積を求めなさい。

(式)



④ できた四角形は平行四辺形だね。

2 (1021) P.9~P.11 の 4 行目

三角形ABCを、直角三角形ABDと直角三角形ACDに分け、それと合同な三角形を右の図のようにならべました。

(1) どんな四角形ができましたか。

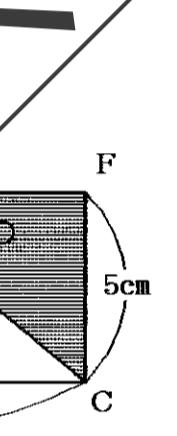
[ ]

(2) 四角形EBCFの面積を求めなさい。

(式)

答え

(3) 四角形EBCFの面積は三角形ABCの面積の何倍ですか。



[ ]

(4) 三角形ABCの面積を求めなさい。

(式)

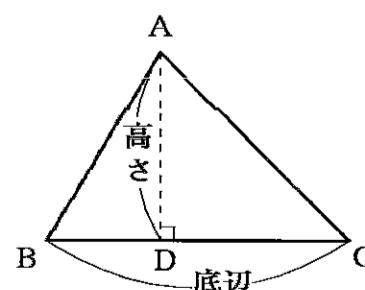
答え

④ 答え合わせをして、次へ進もう。

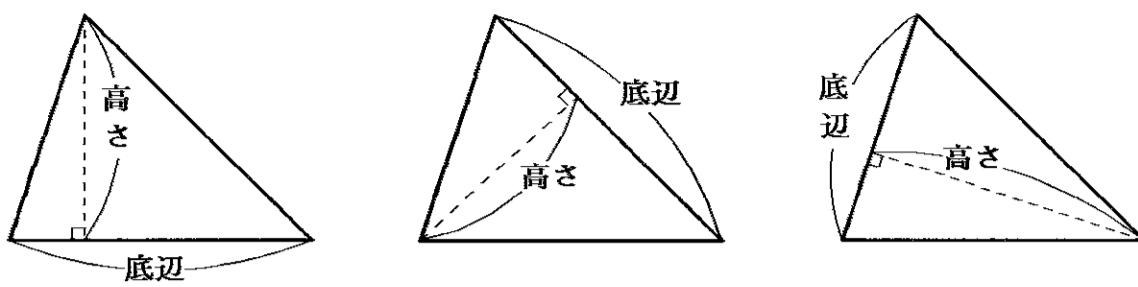
④ 平行四辺形と同じように、三角形にも底辺と高さがあるんだよ。

数学  
教科書

△ABCでは、辺BCを底辺としたとき、  
頂点Aから底辺BCに垂直にひいた直線の長さを高さといいます。



- 三角形は、どの辺も底辺とみることができます。高さは底辺のとり方によって決まります。



さあ、トレーニングをしよう。

### ◆◆◆ トレーニング ◆◆◆

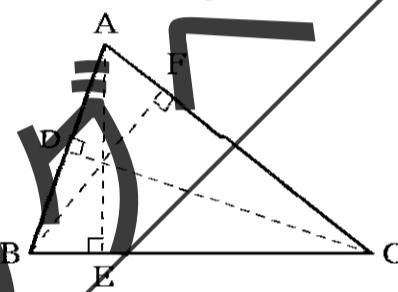
類題 7020

3 (1022) ⇨ 類題 7020 P.9~P.11 の 4 行目

右の図の三角形で、次の辺を底辺とするとき、高さはどこになりますか。

- (1) 辺 A B
- (2) 辺 B C
- (3) 辺 C A

[ ]  
[ ]  
[ ]

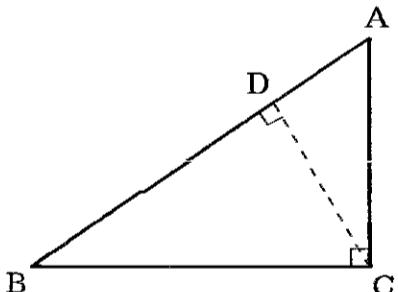


底辺のとり方によって、高さが決まることがわかったね。

4 (1023) ⇨ 類題 7020 P.9~P.11 の 4 行目

右の図の直角三角形で、次の辺を底辺とするとき、高さはどこになりますか。

- (1) 辺 A B
- (2) 边 B C
- (3) 边 C A



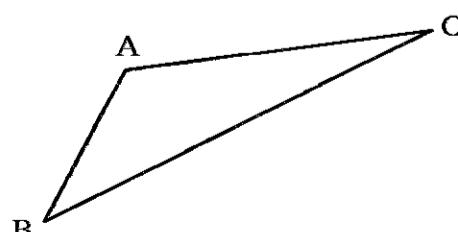
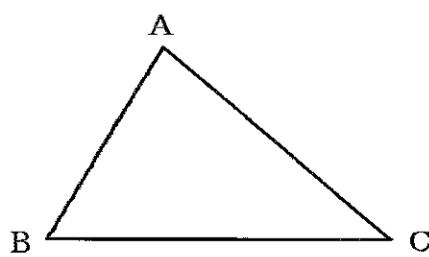
直角三角形では、直角をはさむ一方の辺を底辺とすると、もう一方の辺が高さになるよ。

5 (1024) ⇨ 類題 7020 P.9~P.11 の 4 行目

次の三角形で、辺 B C を底辺とするとき、高さを表す線をかきなさい。

(1)

(2)



6 (1025) ⇒類題 7020 P.9~P.11 の 4 行目

△ABC と合同な△を、右の図のようにならべて、平行四辺形 ABCD をつくりました。

- (1) 平行四辺形 ABCD の面積は、△ABC の面積の何倍ですか。

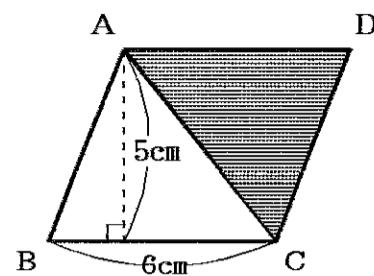
[ ]

- (2) 平行四辺形 ABCD の底辺の長さと高さは、それぞれ△ABC の何の長さと同じですか。また、何 cm ですか。

① 底辺 [ ]

② 高さ [ ]

- (3) △ABC の面積は、何  $\text{cm}^2$  ですか。  
(式)



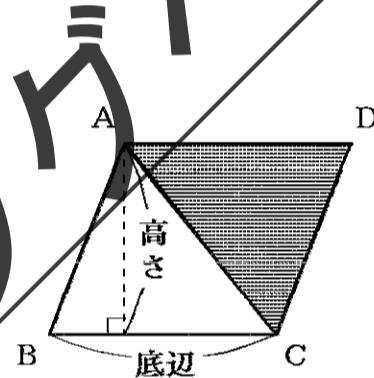
答え

ここで、答え合わせをしておこう。

右の図で、平行四辺形 ABCD の面積は、△ABC の面積の 2 倍になっているね。

そして、平行四辺形 ABCD の底辺と高さは、それぞれ△ABC の底辺と高さと同じだから、△ABC の面積の公式は、次のようになるんだよ。

しっかり覚えようね。

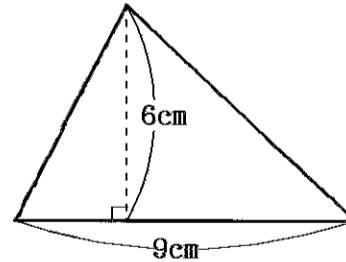


学習

- △ABC の面積は、次の公式で求められます。

$$\text{△ABC の面積} = \frac{\text{底辺} \times \text{高さ}}{2}$$

- 右の図の△ABC は  
底辺……9 cm, 高さ……6 cm  
ですから、面積は  
 $9 \times 6 \div 2 = 27$   
より、 $27 \text{ cm}^2$  になります。



面積の単位に注意して、△ABC の面積を求めていこう。

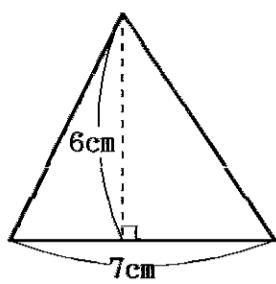
トレーニング

類題 7030

7 (1026) ⇒類題 7030 P.9~P.11 の 4 行目

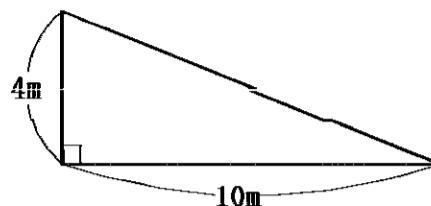
次の△ABC の面積を求めなさい。

(1)



(式)

(2)

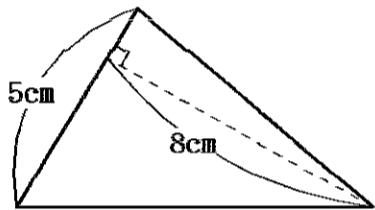


(式)

答え \_\_\_\_\_

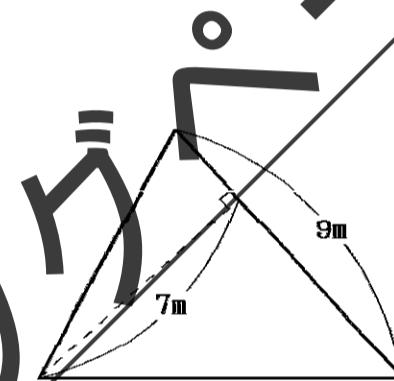
- 8 (1027) ⇨類題 7030 P.9~P.11 の 4 行目  
次の三角形の面積を求めなさい。

(1)



(式)

(2)



(式)

答え \_\_\_\_\_

④ 三角形の面積を求める公式

$$\text{三角形の面積} = \frac{\text{底辺} \times \text{高さ}}{2}$$

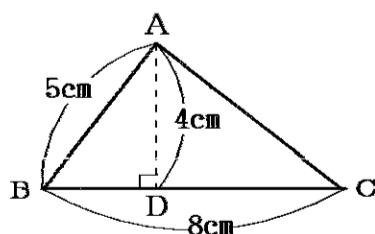
に当てはめれば、かんたんだね。

- 9 (1028) ⇨類題 7030 P.9~P.11 の 4 行目

次の△ABCで、辺BCを底辺とするとき、高さはどこになりますか。

また、△ABCの面積は、何cm<sup>2</sup>ですか。

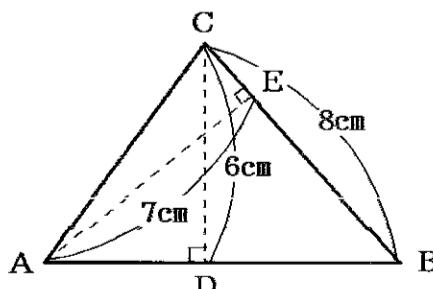
(1)



高さ……[ ]

(式)

(2)



高さ……[ ]

(式)

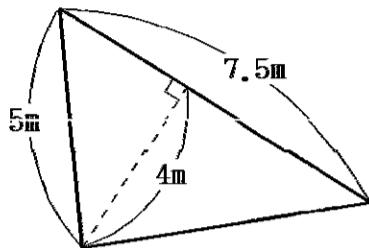
答え \_\_\_\_\_

 高さがどこになるかをまちがえないようにね。  
答え合わせをしてから、次へ進もう。

10 (1029) ⇨類題 7030 P.9~P.11 の 4 行目

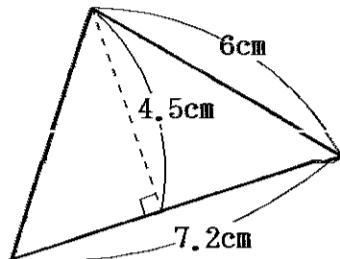
次の三角形の面積を求めなさい。

(1)



(式)

(2)



(式)

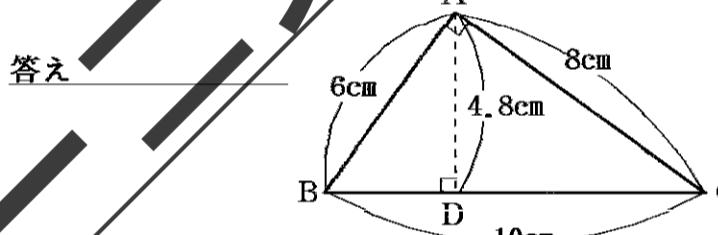
 続けてトレーニングをしよう。

11 (1030) ⇨類題 7030 P.9~P.11 の 4 行目

右の三角形の面積を 2 とおりのしかたで求めなさい。

(1) 辺 A B を底辺としたとき

(式)



答え

(2) 辺 B C を底辺としたとき

(式)

答え

 ここで、答え合わせをしよう。

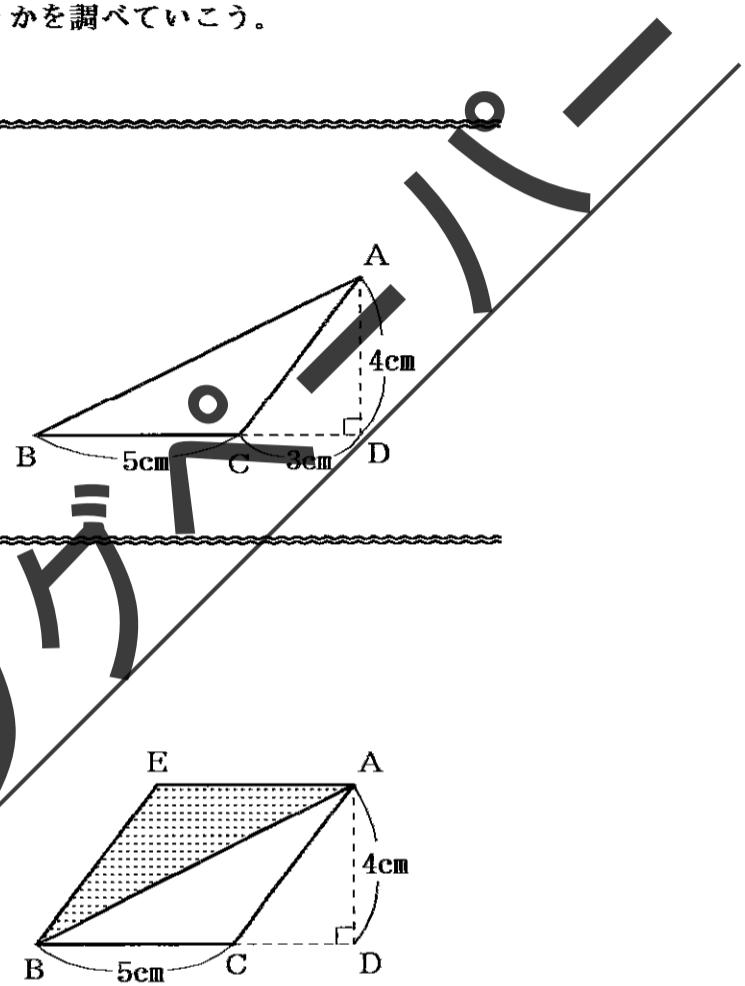
# いろいろな三角形の面積

P.11 の 5 行目～P.11 の最後

④ どんな三角形でも、面積を求める公式が使えるかどうかを調べていこう。

## △ 三角形の面積の求め方

右の図のような三角形ABCの面積を求めなさい。



## ○ 説明 ○

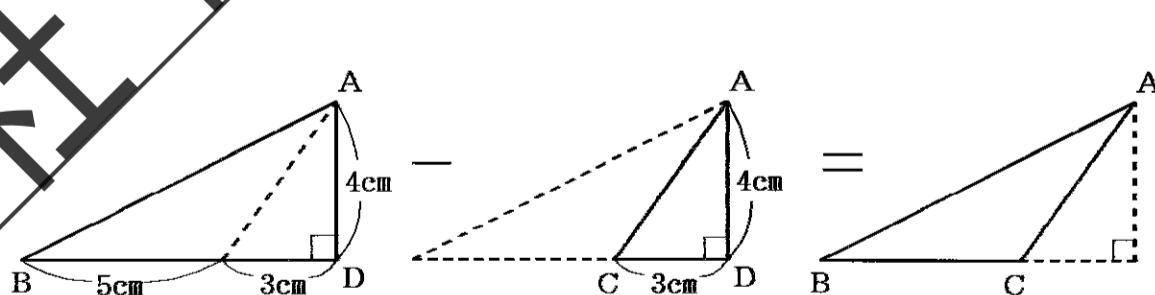
- 三角形ABCと合同な三角形を右の図のようになると、平行四辺形EBCAができます。このことから、三角形ABCの面積を求めます。  
平行四辺形EBCAの面積は  
 $5 \times 4 = 20$   
で、 $20\text{cm}^2$ です。

これは、三角形ABCの面積の2倍ですから、三角形ABCの面積は、次のように求めることができます。

$$5 \times 4 \div 2 = 10$$

答え  $10\text{cm}^2$

- 次の図のように、直角三角形ABDから直角三角形ACDをとりのぞいたものが三角形ABCであると考えて、三角形ABCの面積を求めます。



$$\text{三角形 } ABD \text{ の面積} \dots\dots (5 + 3) \times 4 \div 2 = 16$$

$$\text{三角形 } ACD \text{ の面積} \dots\dots 3 \times 4 \div 2 = 6$$

$$\text{三角形 } ABC \text{ の面積} \dots\dots 16 - 6 = 10$$

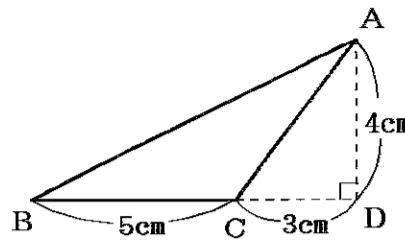
答え  $10\text{cm}^2$

- 三角形ABCで、辺BCを底辺、直線ADの長さを高さとして、公式に当てはめて面積を計算すると、次のようになります。

$$5 \times 4 \div 2 = 10$$

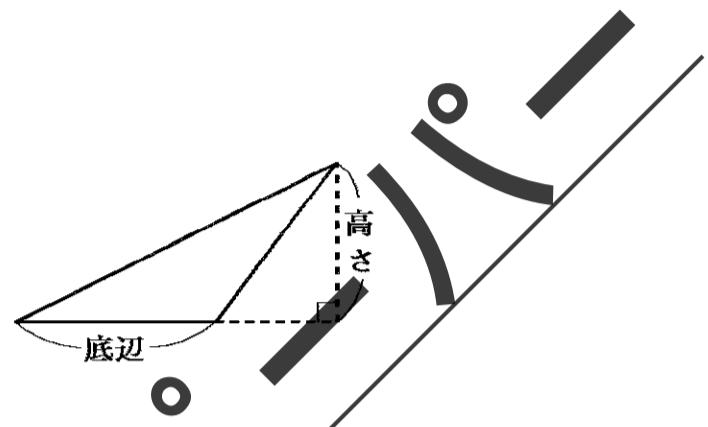
答え  $10\text{cm}^2$

- これは前に求めた面積と同じになっていますね。



- ですから、右の図のような三角形でも、面積を求めるのに

三角形の面積 = 底辺 × 高さ ÷ 2  
の公式を使うことができます。



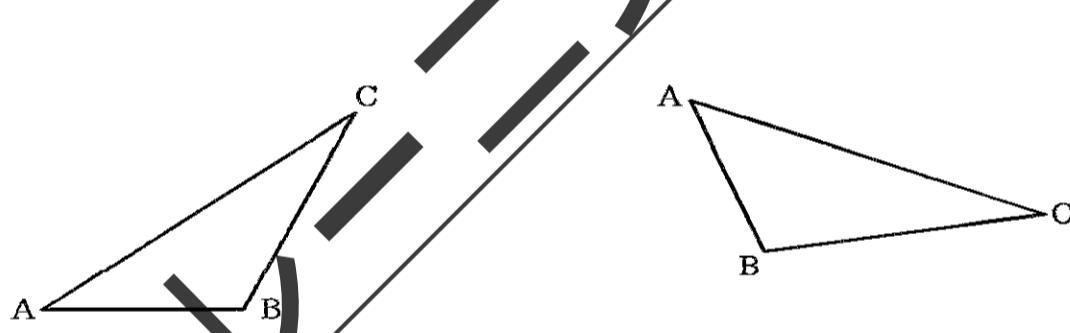
では、トレーニングに進もう。

### トレーニング

1 (1031) ⇨類題7040 P.11の5行目～P.11の最後

次の三角形で、辺ABを底辺とするとき、高さを表す線をかきなさい。

(1)



どこが高さになるかはもうわかったね。では、答え合わせをしてから、三角形の面積をばんばん求めていこう。

2 (1032) ⇨類題7040 P.11の5行目～P.11の最後

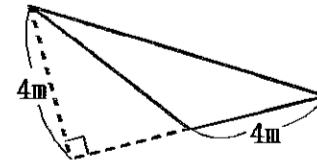
次の三角形の面積を求めなさい。

(1)

(2)



(式)



(式)

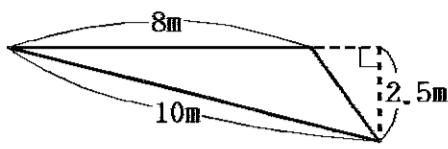
答え \_\_\_\_\_

答え \_\_\_\_\_

3 (1033) ⇨類題 7040 P.11 の 5 行目～P.11 の最後

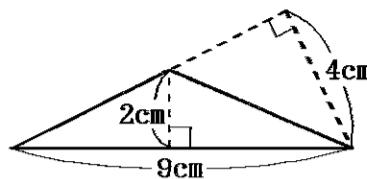
次の三角形の面積を求めなさい。

(1)



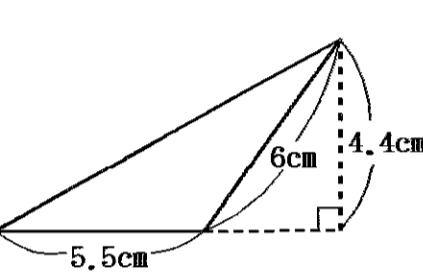
(式)

(2)



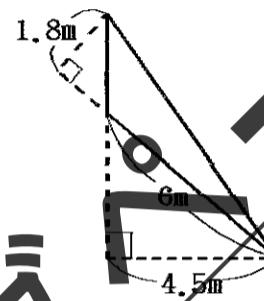
(式)

(3)



(式)

(4)



答え

(式)

答え

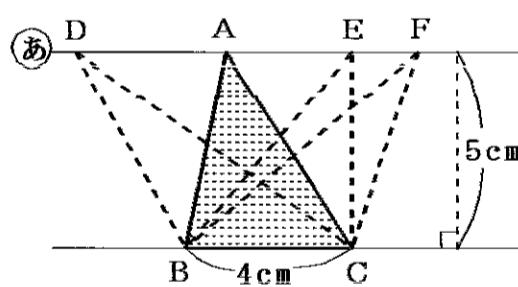
では、答え合わせをして、何題できているか調べてみよう。

4 (1034) ⇨類題 7040 P.11 の 5 行目～P.11 の最後

右の図で、直線⑥は、三角形 A B C の底辺  
B C と平行です。次の問い合わせに答えなさい。

(1) 三角形 A B C の面積を求めなさい。

(式)



答え

(2) 次の三角形の面積は、何  $\text{cm}^2$  ですか。

① 三角形 D B C

】

② 三角形 E B C

】

③ 三角形 F B C

】

点 D, A, E, F は、底辺 B C に平行な直線 ⑥ の上にあるから、上の 4 つの三角形の高さはどれも同じになるね。

この 4 つの三角形は形がちがうけど、底辺の長さと高さが同じだから、面積も同じになるんだよ。

つまり、底辺が 4 cm、高さが 5 cm の三角形の面積は、どんな形を置いても

$$4 \times 5 \div 2 = 10$$

のように求められるんだよ。

答え  $10 \text{cm}^2$

5 (1035) ⇨類題 7040 P.11 の 5 行目～P.11 の最後

底辺、高さが次のようにになっている三角形の面積を求めなさい。

(1) 底辺 24 cm, 高さ 12 cm  
(式)

(2) 底辺 18 m, 高さ 15 m  
(式)

(3) 底辺 9.6 cm, 高さ 11 cm  
(式)

(4) 底辺 7.5 cm, 高さ 8.8 cm  
(式)

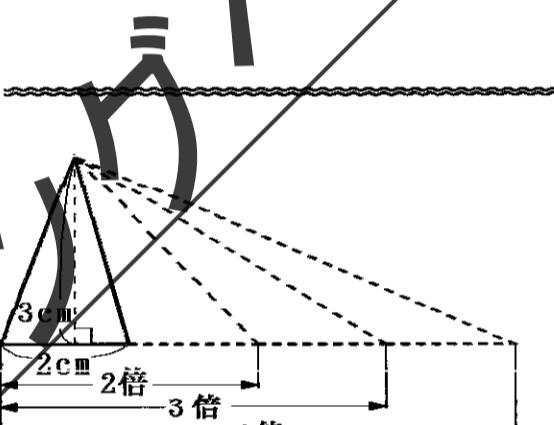
(5) 底辺 1.5 m, 高さ 6.4 m  
(式)

(6) 底辺 7 m, 高さ 5.8 m  
(式)

② さあ、答え合わせをしよう。

③ 三角形の高さを変えないで、底辺の長さを変えていくと、面積はどのように変わっていくかについて考えていく。

△ 三角形の底辺の長さを 2 倍、3 倍にすると  
右の図のように、三角形の高さを変えないで、  
底辺の長さを 2 倍、3 倍、4 倍にすると、面積は  
それぞれもとの何倍になりますか。



### ④ 説明

- ・ もとの三角形は、底辺が 2 cm、高さが 3 cm ですから、面積は  
 $2 \times 3 \div 2 = 3$  より  $3 \text{ cm}^2$
- ・ 底辺の長さ 2 cm の 2 倍、3 倍、4 倍はそれぞれ  
 $2 \times 2 = 4$  (cm),  $2 \times 3 = 6$  (cm),  $2 \times 4 = 8$  (cm)  
となります。
- ・ 底辺の長さが 4 cm, 6 cm, 8 cm のときの面積をそれぞれ計算してみましょう。  
 $4 \times 3 \div 2 = 6$  より  $6 \text{ cm}^2$   
 $6 \times 3 \div 2 = 9$  より  $9 \text{ cm}^2$   
 $8 \times 3 \div 2 = 12$  より  $12 \text{ cm}^2$
- ・ 底辺の長さが 4 cm, 6 cm, 8 cm のときの面積はそれぞれ、底辺の長さが 2 cm のときの面積  $3 \text{ cm}^2$  の 2 倍、3 倍、4 倍になっています。
- ・ 底辺の長さ 2 cm を 5 倍、6 倍、……にしたときの底辺の長さと面積も調べて、表に表すと次のようになります。

|                      |   |   |   |    |    |    |    |
|----------------------|---|---|---|----|----|----|----|
| 底辺(cm)               | 2 | 4 | 6 | 8  | 10 | 12 | 14 |
| 面積(cm <sup>2</sup> ) | 3 | 6 | 9 | 12 | 15 | 18 | 21 |

- ・ 表から、次のことがわかりますね。

三角形では、高さをそのままにして、底辺の長さを2倍、3倍、……にすると、面積も2倍、3倍、……になります。

## ト レ ー ニ ン グ

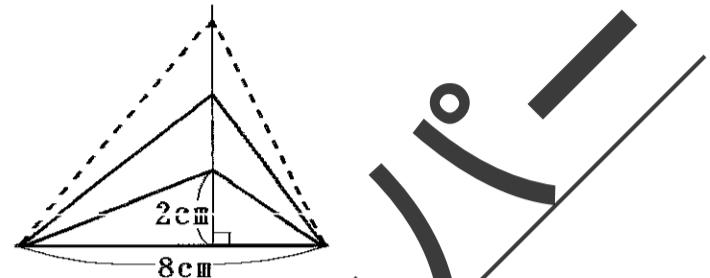
## 類題 7050

### 6 (1036) ⇨ 類題 7050 P.11 の 5 行目～P.11 の最後

三角形の底辺を8cmと決め、高さを2cm, 4cm, 6cm, ……と変えていくと、面積はどのように変わっていくかを調べます。

次の表を完成し、問い合わせに答えなさい。

|                     |   |   |   |   |    |
|---------------------|---|---|---|---|----|
| 高さ(cm)              | 2 | 4 | 6 | 8 | 10 |
| 面積( $\text{cm}^2$ ) |   |   |   |   |    |



(1) 高さを2倍、3倍にすると、面積はそれぞれもとの何倍になりますか。

[ ]

(2) 面積が次のようになるのは、高さが何cmのときですか。

①  $80 \text{ cm}^2$

(式)

答え \_\_\_\_\_

②  $120 \text{ cm}^2$

(式)

答え \_\_\_\_\_



面積が何倍になっているかがわかれば、高さは簡単にわかるね。

三角形では、高さをそのままにして、底辺の長さを2倍、3倍、……にすると、面積も2倍、3倍、……になり、底辺の長さをそのままにして、高さを2倍、3倍、……にすると、面積も2倍、3倍、……になるんだね。

### 7 (1037) ⇨ 類題 7050 P.11 の 5 行目～P.11 の最後

面積が $18 \text{ cm}^2$ の三角形があります。これについて、次の問い合わせに答えなさい。

(1) この三角形の底辺の長さだけを2倍にすると、面積は何 $\text{cm}^2$ になりますか。

(式)

答え \_\_\_\_\_

(2) この三角形の高さだけを5倍にすると、面積は何 $\text{cm}^2$ になりますか。

(式)

答え \_\_\_\_\_

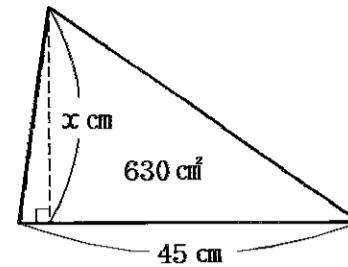
ここで、答え合わせをしよう。

△ 三角形の底辺の長さと面積がわかっているとき、高さはどうやれば求められるかな。次の説明をよく読んで、高さの求め方をしっかり覚えよう。

~~~~~□三角形の高さを求める□~~~~~

右の図のような、底辺が45cmで、面積が $630\text{cm}^2$ の三角形があります。

高さを  $x\text{ cm}$  として式をつくり、高さを求めなさい。



◎説明◎

- 高さを  $x\text{ cm}$  として、三角形の面積を求める公式に当てはめると、次のようにになります。

$$\text{底辺} \times \text{高さ} \div 2 = \text{三角形の面積}$$

$$45 \times x \div 2 = 630$$

- $45 \times x \div 2 = 630$  の  $x$  に当てはまる数から、高さを求めます。

$$45 \times x \div 2 = 630$$

$$45 \times x = 630 \times 2$$

$$45 \times x = 1260$$

$$x = 1260 \div 45$$

$$x = 28$$

答え  $28\text{ cm}$

では、トレーニングをしよう。

◀◀◀ トレーニング ▶▶▶

類題 7060

⑧ (1038) ⇨類題 7060 P.11 の 5 行目～P.11 の最後

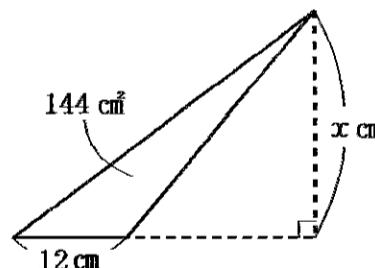
右の図のような、底辺が12cmで、面積が $144\text{cm}^2$ の三角形があります。

- 高さを  $x\text{ cm}$  として、式をつくりなさい。

- 高さを求めなさい。

(式)

答え \_\_\_\_\_



⑨ (1039) ⇨類題 7060 P.11 の 5 行目～P.11 の最後

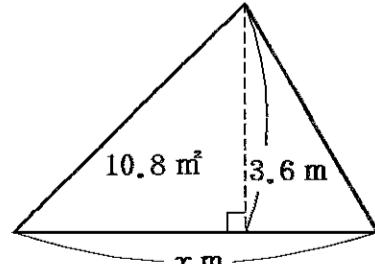
右の図のような、高さ3.6mで、面積が $10.8\text{m}^2$ の三角形があります。

- 底辺の長さを  $x\text{ m}$  として、式をつくりなさい。

- 底辺の長さを求めなさい。

(式)

答え \_\_\_\_\_



今度は図がない問題に取り組もう。

10 (1040) ⇨類題 7060 P.11 の 5 行目～P.11 の最後

次の長さを求めなさい。

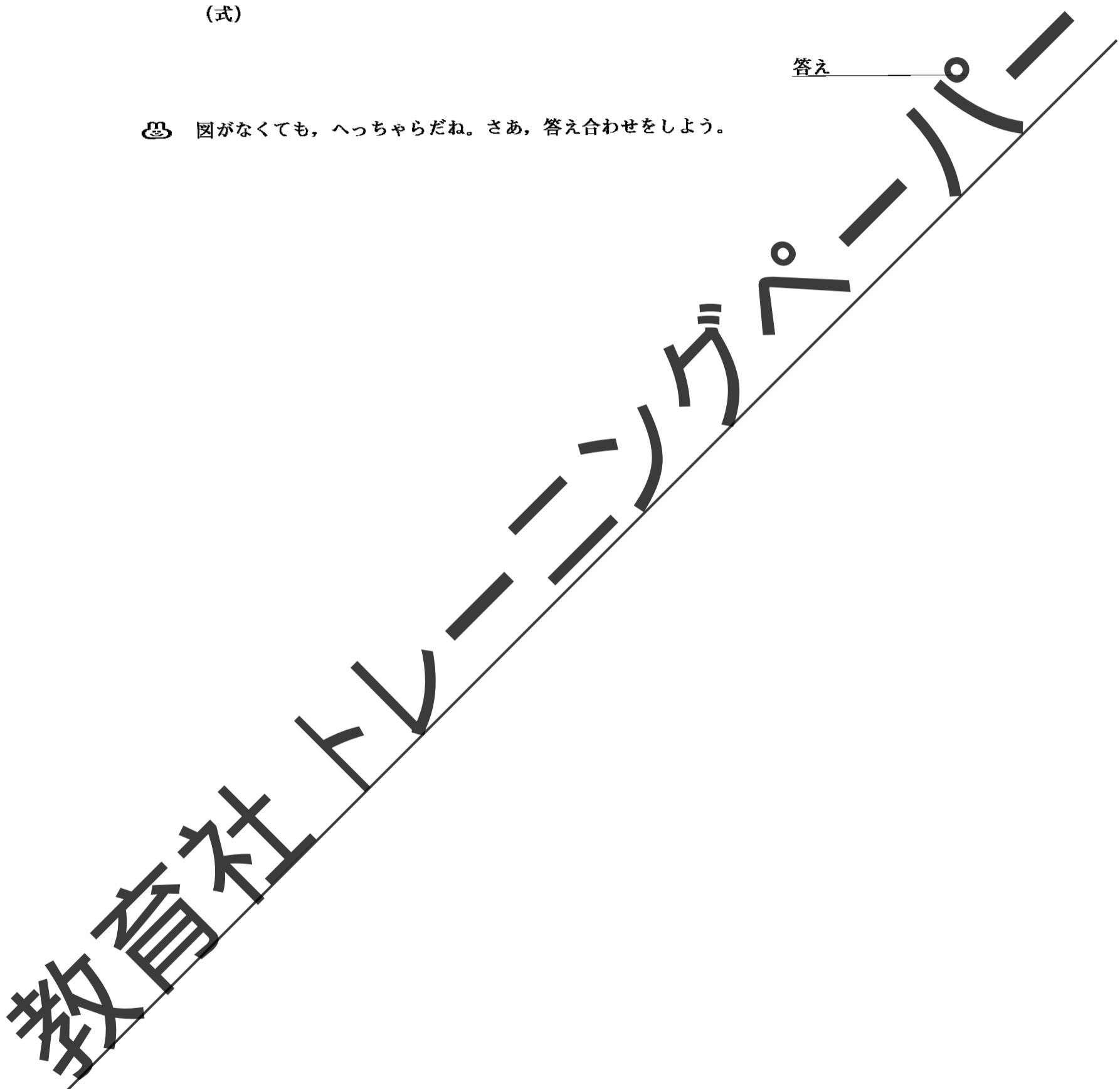
- (1) 面積が  $156\text{m}^2$  で、底辺が  $24\text{ m}$  の三角形の高さ  
(式)

答え \_\_\_\_\_

- (2) 面積が  $13.5\text{cm}^2$  で、高さが  $7.5\text{cm}$  の三角形の底辺の長さ  
(式)

答え \_\_\_\_\_

図 図がなくても、へっちゃらだね。さあ、答え合わせをしよう。

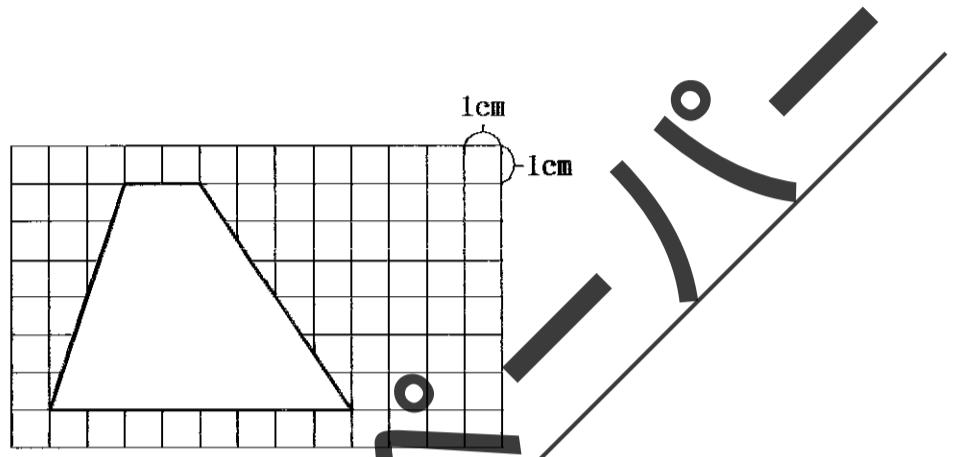


# 台形の面積

P.13~P.15 の 8 行目

図 台形の面積を求めてみよう。

まず、右の図の台形を同じ面積の平行四辺形か、三角形に直して、面積を求めましょう。



次のように考えれば、面積が求められます。  
平行四辺形に直すと

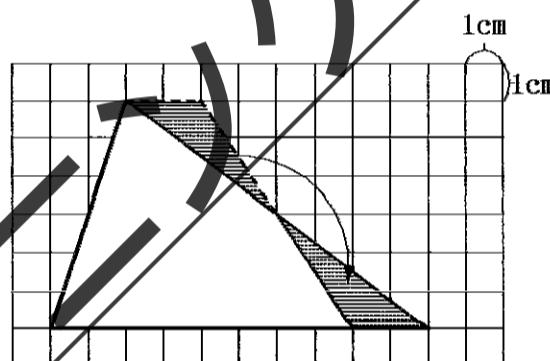
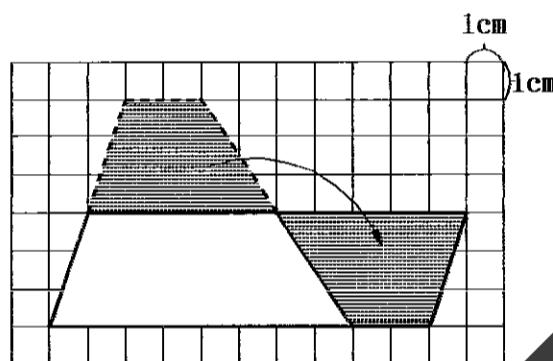
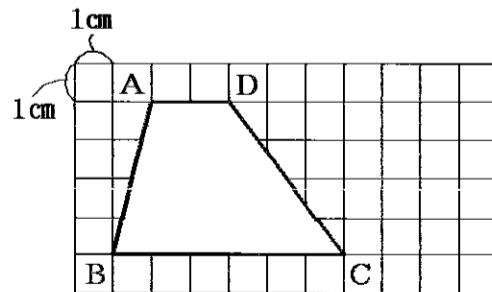


図 わかったかな。今度は、これとはちがうやり方で求めてみよう。

～～～ 台形の面積の求め方 ～～～

右の図のような台形 A B C D の面積を求めなさい。



## ● 説明 ●

- 台形 ABCD と合同な台形を右の図のようにならべると、平行四辺形 AB EF ができます。

このことから、台形 ABCD の面積を求めます。

- 平行四辺形 AB EF の底辺の長さと高さは  
底辺…… $6 + 2 = 8$  より 8 cm,  
高さ……4 cm

ですから、面積は

$$(6 + 2) \times 4 = 32 \text{ より } 32 \text{ cm}^2$$

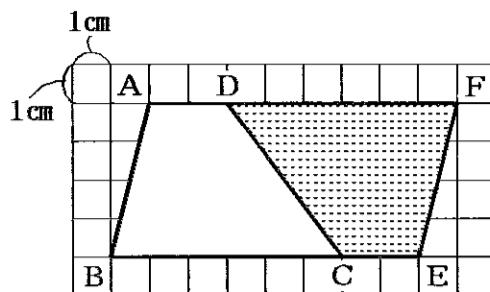
となります。

- 平行四辺形 AB EF の面積は

台形 ABCD の面積の 2 倍

ですから、台形 ABCD の面積は、次のように求めることができます。

$$(6 + 2) \times 4 \div 2 = 16$$



答え  $16 \text{ cm}^2$

- ④ 台形の面積を求めるときは、平行四辺形の面積をもとにすればいいことがわかったね。  
では、トレーニングをやっていこう。

## ◆◆◆ トレーニング ◆◆◆

- 1 (1041) P.13~P.15 の 8 行目

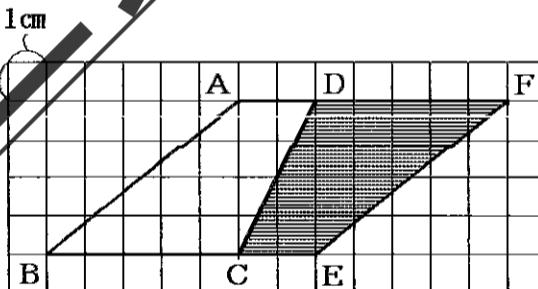
台形 ABCD と合同な台形を、右の図のようにならべました。

- (1) どんな四角形ができましたか。

[

- (2) 四角形 AB EF の面積を求めなさい。

(式)



[ ]

- (3) 四角形 AB EF の面積は、台形 ABCD の面積の何倍ですか。

[ ]

- (4) 台形 ABCD の面積を求めなさい。

(式)

答え \_\_\_\_\_

⑤ 四角形 AB EF は向かい合った 2 組の辺がそれぞれ平行になっているね。

- 2 (1042) P.13~P.15 の 8 行目

台形 ABCD と合同な台形を、右の図のようにならべました。

- (1) 四角形 AB EF の面積を求めなさい。

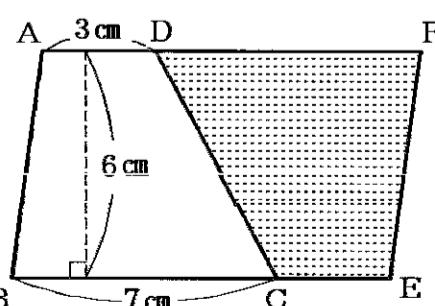
(式)

答え \_\_\_\_\_

- (2) 台形 ABCD の面積を求めなさい。

(式)

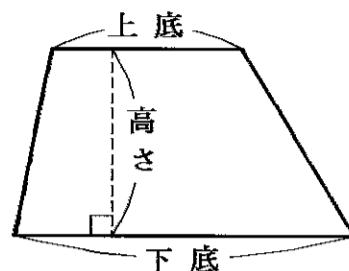
答え \_\_\_\_\_



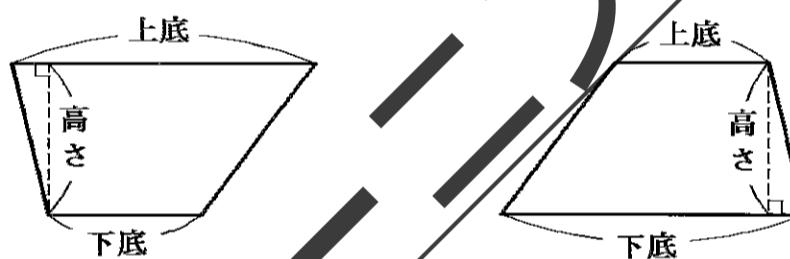
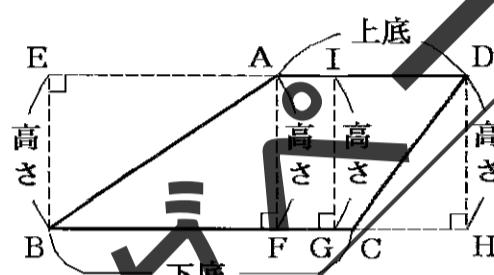
 台形について、新しいことばを学習しよう。

## — 学習 —

- 台形では、平行な2つの辺を上底、下底といい、  
上底と下底との間の垂直な直線の長さを高さといいます。
- 上底と下底を底辺ということもあります。



- 右の台形A B C Dで、辺ADを上底、辺BCを下底とすると  
直線EB, AF, IG, DHの長さはどれも高さになります。  
上底と下底は平行な2つの辺ですから、高さはどこにとっても同じ長さです。
- 平行な2つの辺はどちらが上底でもかまいません。



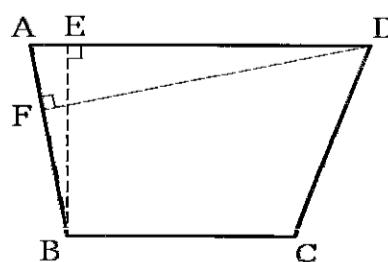
 では、トレーニングをやっていこう。

## トレーニング

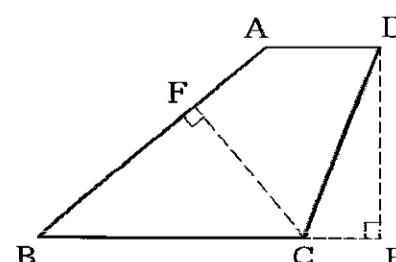
- ③ (1043) P.13~P.15の8行目  
次の台形で辺ADを上底としたとき、下底と高さはどれですか。

(1)

(2)



下底 [ ]  
高さ [ ]



下底 [ ]  
高さ [ ]

④ 平行な2つの辺の一方を上底<sup>じょうつい</sup>とすると、もう一方が下底<sup>かつい</sup>になるんだったね。また、高さは上底と下底に垂直<sup>すいちょく</sup>だったね。

答え合わせをしてから、次の問題に取り組もう。

④ (1044) P.13~P.15 の8行目

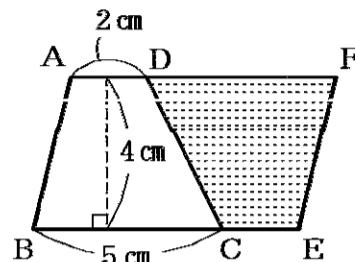
台形A B C Dと合同な台形を、右の図のようにならべて、平行四辺形A B E Fをつくりました。

(1) 平行四辺形A B E Fの面積は、台形A B C Dの面積の何倍ですか。 [ ]

(2) 平行四辺形A B E Fの底辺の長さは、台形A B C Dの何と何の長さの和と同じですか。 [ ]

(3) 平行四辺形A B E Fの高さは、台形の何の長さと同じですか。 [ ]

(4) 台形A B C Dの面積は、何cm<sup>2</sup>ですか。  
(式)



答え

⑤ ここで、答え合わせをしよう。

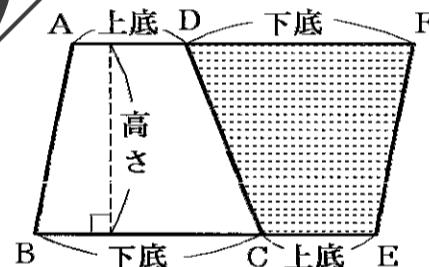
⑤ 右の図の台形A B C Dの面積は

平行四辺形A B E Fの面積÷2

になっているね。そして、平行四辺形の底辺の長さと高さはそれぞれ

台形の上底と下底の長さの和  
台形の高さ

と同じだから、台形の面積を求める公式は、次のようになるんだよ。



~~学習~~

・台形の面積は、次の公式で求められます。

$$\text{台形の面積} = (\text{上底} + \text{下底}) \times \text{高さ} \div 2$$

右の図の台形は

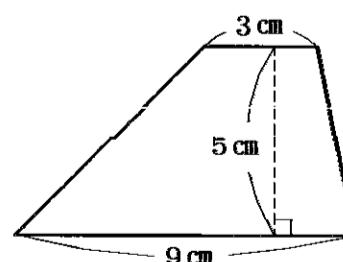
上底……3 cm, 下底……9 cm,

高さ……5 cm

ですから、面積は

$$(3 + 9) \times 5 \div 2 = 30$$

より、30cm<sup>2</sup>になります。



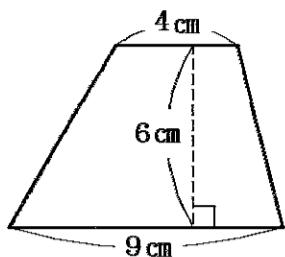
ト レ ー ニ ン グ

類題 7090

⑤ (1045) ⇨類題 7090 P.13~P.15 の8行目

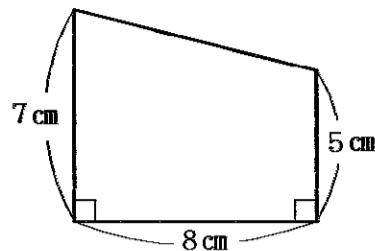
次の台形の面積を求めなさい。

(1)



(式)

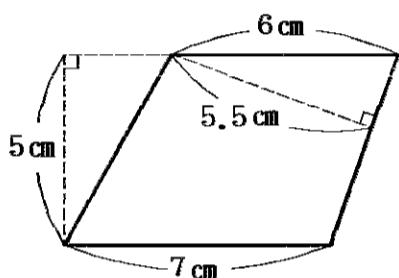
(2)



(式)

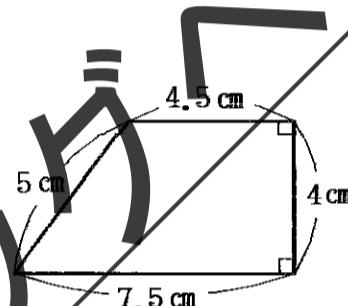
- 6 (1046) ⇨類題 7090 P.13~P.15 の 8 行目  
次の台形の面積を求めなさい。

(1)



(式)

(2)



(式)

答え \_\_\_\_\_

答え \_\_\_\_\_

- 6 高さは上底と下底に垂直な直線だよ。まちがえないでね。  
答え合わせをしてから、図のない問題をやろう。

- 7 (1047) ⇨類題 7090 P.13~P.15 の 8 行目

上底、下底、高さが次のようにになっている台形の面積を求めなさい。

(1) 上底 3 cm, 下底 9 cm, 高さ 4 cm

(式)

(2) 上底 4 m, 下底 5 m, 高さ 12 m

(式)

(3) 上底 3.8 cm, 下底 6.2 cm, 高さ 4 cm

(式)

(4) 上底 6.5 m, 下底 9.5 m, 高さ 9 m

(式)

(5) 上底 7.2 cm, 下底 8 cm, 高さ 6.5 cm

(式)

答え \_\_\_\_\_

答え \_\_\_\_\_

(6) 上底 2 m, 下底 5.5 m, 高さ 6.4 m

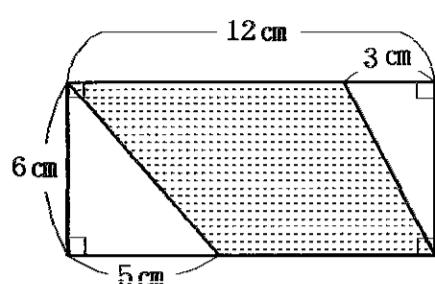
(式)

答え \_\_\_\_\_

- 6 何題できたかな。5題できたら、合格だよ。これからもこの調子でがんばろう。

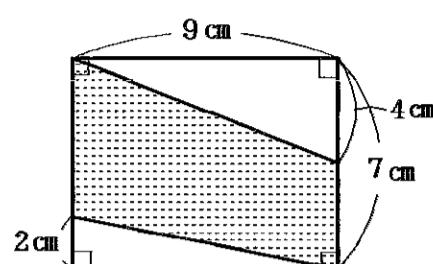
- 8 (1048) ⇒類題 7090 P.13~P.15 の 8 行目  
次の図で、黒くぬっている部分の面積を求めなさい。

(1)



(式)

(2)



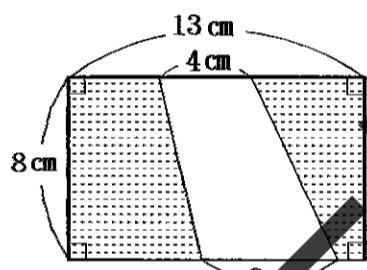
(式)

答え \_\_\_\_\_

④ 全体の面積から、白くなっている部分の面積をひく方法もあるけど、黒くぬっている部分が台形になっていることからも、面積が求められるね。

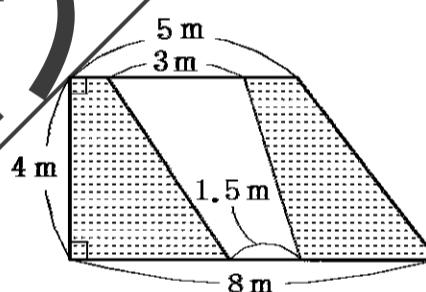
- 9 (1049) ⇒類題 7090 P.13~P.15 の 8 行目  
次の図で、黒くぬっている部分の面積を求めなさい。

(1)



(式)

(2)



(式)

答え \_\_\_\_\_

④ (1)は長方形の面積から台形の面積をひいて、(2)は大きな台形の面積から小さな台形の面積をひいて求めることができるよ。  
さあ、答え合わせをしよう。

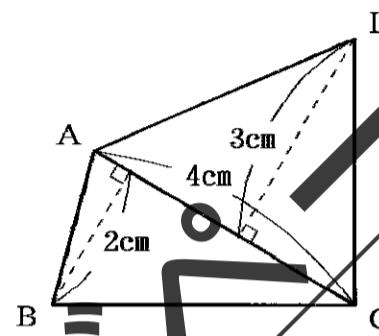
# いろいろな図形の面積

P.15 の 9 行目～P.16 の 3 行目

④ 特別な形をしていない四角形の面積を求める問題を考えよう。

~~~~~ 特別な形をしていない四角形の面積 ~~~~

右の四角形の面積を求めなさい。



## 説明

- 四角形を、右の図のように  
△ABC と △ACD の 2 つの三角形に分けて考えます。
  - △ABC と △ACD の面積を求めましょう。
- △ABC の面積  
 $4 \times 2 \div 2 = 4$  より  $4 \text{ cm}^2$
- △ACD の面積  
 $4 \times 3 \div 2 = 6$  より  $6 \text{ cm}^2$
- 四角形 ABCD の面積は、△ABC の面積と△ACD の面積をたせば求められます。
- $$4 + 6 = 10$$

答え  $10 \text{ cm}^2$

④ 四角形 ABCD の面積は、対角線 AC で分けた 2 つの三角形の面積の和で求められることがわかったね。

## 学習

四角形の面積は、対角線で 2 つの三角形に分けて求めることができます。

では、トレーニングしよう。

## トレーニング

類題 7100

1 (1050) ⇒ 類題 7100 P.15 の 9 行目～P.16 の 3 行目

右の図の四角形 ABCD の面積を求めるために、対角線 AC で 2 つの三角形に分けました。

次の問いに答えなさい。

- (1) 三角形ABCの面積を求めなさい。

(式)

答え \_\_\_\_\_

- (2) 三角形ACDの面積を求めなさい。

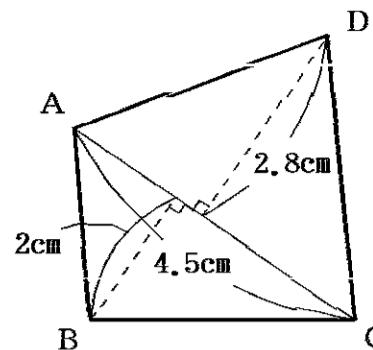
(式)

答え \_\_\_\_\_

- (3) 四角形ABCDの面積を求めなさい。

(式)

答え \_\_\_\_\_

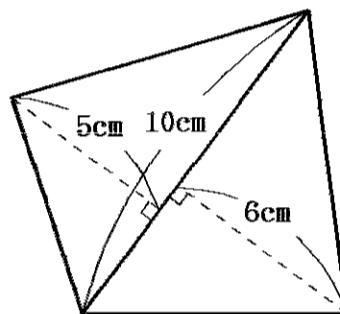


❶ 対角線ACは、エーシー 三角形ABCの底辺にも、ピー 三角形ACDの底辺にもなっているね。

- ❷ (1051) ⇨類題7100 P.15の9行目～P.16の3行目

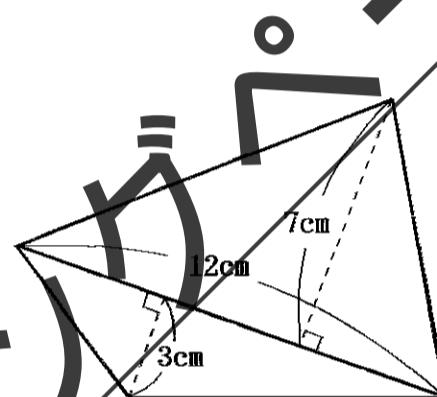
次の図のような四角形の面積を求めなさい。

(1)



(式)

(2)



(式)

答え \_\_\_\_\_

答え \_\_\_\_\_

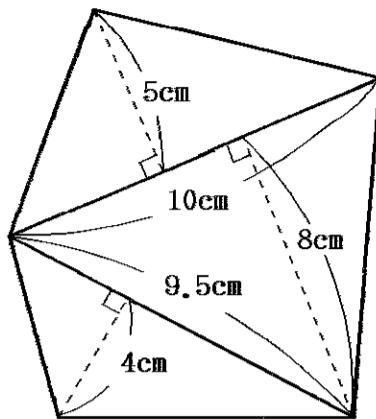
❷ 次は、五角形の面積を求めるよ。五角形を対角線で区切って3つの三角形に分け、それぞれの面積を計算して、それをたせばいいんだよ。

- ❸ (1053) ⇨類題7100 P.15の9行目～P.16の3行目

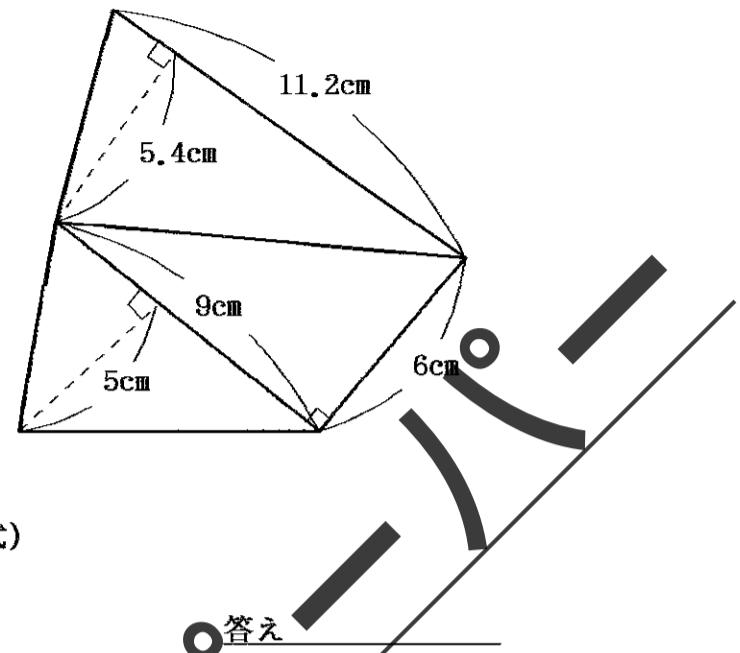
次の図のような五角形の面積を求めなさい。

数学

(1)



(2)



(式)

(式)

答え \_\_\_\_\_

答え \_\_\_\_\_

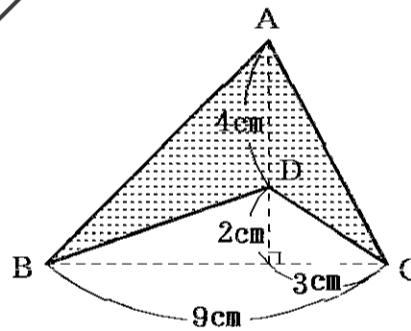
④ 答え合わせをしよう。

④ くふうして面積を求める学習をしていこう。

### ~~~~~ ④ 三角形から三角形をのぞいた形の面積の求め方(めんせき)

右の図で、黒くぬっている部分の面積を、次の2通りのしかたで求めなさい。

- (1) 三角形ABCの面積から三角形DBCの面積をひいて求めなさい。
- (2) 三角形ABDの面積と、三角形ACDの面積をたして求めなさい。



### ④ 説明

- (1) 黒くぬっている部分の面積は  
 $(\text{三角形ABCの面積}) - (\text{三角形DBCの面積})$   
で求められます。

- 三角形ABCは、底辺が9cm、高さが $(4+2)\text{cm}$ だから、面積は  
 $9 \times (4+2) \div 2 = 27$ より  $27\text{cm}^2$

- 三角形DBCは、底辺が9cm、高さが2cmだから、面積は  
 $9 \times 2 \div 2 = 9$ より  $9\text{cm}^2$

- 黒くぬっている部分の面積は、次のようにになります。  
 $27 - 9 = 18$

答え  $18\text{cm}^2$ 

- (2) 黒くぬっている部分の面積は

$(\text{三角形ABDの面積}) + (\text{三角形ACDの面積})$

でも求められます。

- 三角形ABDは、底辺が4cm、高さが $(9-3)\text{cm}$ だから、面積は  
 $4 \times (9-3) \div 2 = 12$ より  $12\text{cm}^2$
- 三角形ACDは、底辺が4cm、高さが3cmだから、面積は

$$4 \times 3 \div 2 = 6 \text{ より } 6 \text{ cm}^2$$

- 黒くぬっている部分の面積は、次のようにになります。

$$12 + 6 = 18$$

答え 18cm<sup>2</sup>

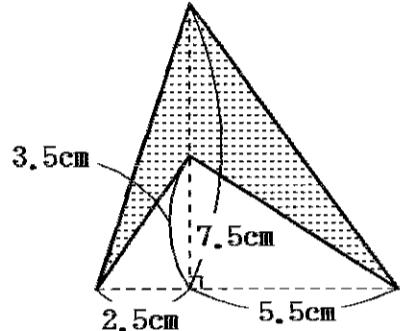
説明はわかったね。では、トレーニングをやっていこう。

### トレーニング

4 (1053) P.15 の 9 行目～P.16 の 3 行目

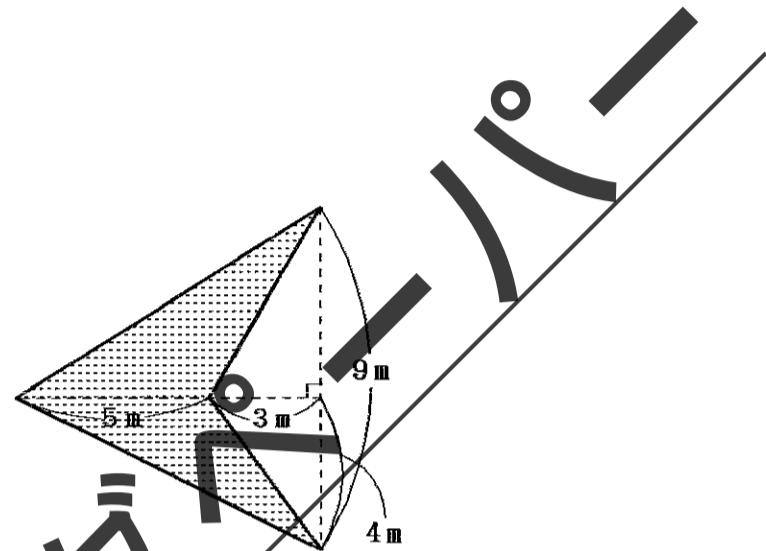
次の図で、黒くぬっている部分の面積を求めなさい。

(1)



(式)

(2)



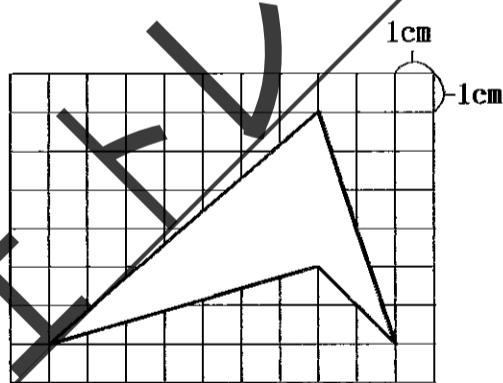
答え \_\_\_\_\_

2つの三角形の面積の差か、和で求められるんだね。

5 (1054) P.15 の 9 行目～P.16 の 3 行目

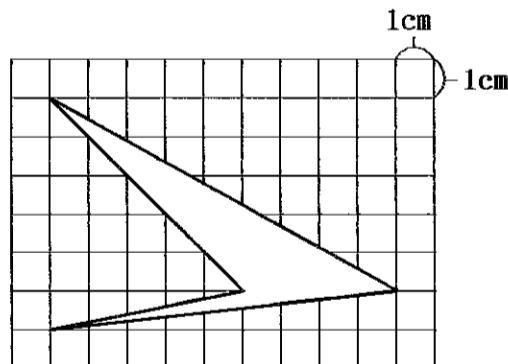
次の図形の面積を求めなさい。

(1)



(式)

(2)



(式)

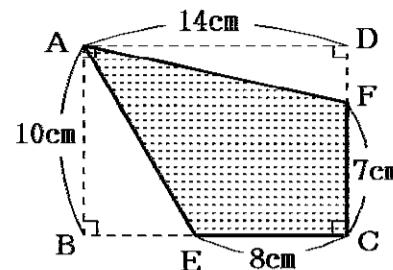
答え \_\_\_\_\_

さあ、答え合わせをしよう。

よく考えて、取り組んでいこう。

~~~~~ ◎ 長方形から 2 つの三角形をのぞいた形の面積の求め方 ◎ ~~~~~

右の図で、黒くぬっている部分の面積を求めなさい。



◎ 説明 ◎

- 黒くぬっている部分の面積は  
(三角形ACEの面積)  
+ (三角形ACFの面積)

で、求められます。

- 三角形ACEの面積は  
 $8 \times 10 \div 2 = 40$  より  $40\text{cm}^2$   
三角形ACFの面積は  
 $7 \times 14 \div 2 = 49$  より  $49\text{cm}^2$

- ですから、黒くぬっている部分の面積は、次のようにになります。  
 $40 + 49 = 89$

答え  $89\text{cm}^2$

《別の考え方》

- 黒くぬっている部分の面積は  
(長方形ABCDの面積) - (三角形ABEの面積) - (三角形ADFの面積)

でも、求められます。

- 長方形ABCD、三角形ABE、三角形ADFの面積は、それぞれ  
長方形ABCD…… $10 \times 14 = 140$  より  $140\text{cm}^2$   
三角形ABE…… $(14 - 8) \times 10 \div 2 = 30$  より  $30\text{cm}^2$   
三角形ADF…… $14 \times (10 - 7) \div 2 = 21$  より  $21\text{cm}^2$
- ですから、黒くぬっている部分の面積は、次のようにになります。  
 $140 - 30 - 21 = 89$

答え  $89\text{cm}^2$

◎ さあ、トレーニングに取り組もう。

◆◆◆ トレーニング ◆◆◆

類題 7120

④ (1055) ◎類題 7120 P.15 の 9 行目～P.16 の 3 行目

右の図で、黒くぬっている部分の面積を、2 通りのしかたで求めなさい。

- 三角形BEGの面積と、台形BFDGの面積をたしめて求めなさい。

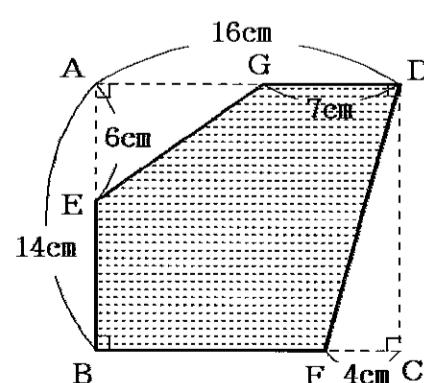
(式)

答え \_\_\_\_\_

- 長方形ABCDの面積から、三角形AEGの面積と三角形CDFの面積をひいて求めなさい。

(式)

答え \_\_\_\_\_

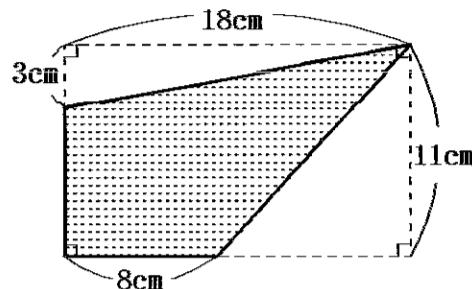


 さあ、自分のすきな方法で面積を求めよう。

7 (1056) ⇨類題 7120 P.15 の 9 行目～P.16 の 3 行目

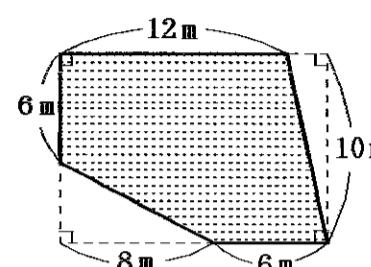
次の図で、黒くぬっている部分の面積を求めなさい。

(1)



(式)

(2)



(式)

答え

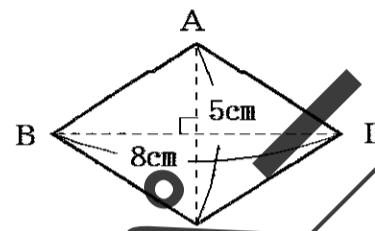
数学教材

# ひし形の面積、面積比べ

P.16 の 4 行目～P.16 の最後

④ ひし形の面積の求め方を学習しよう。

~~~~~ ④ ひし形の面積の求め方 ④ ~~~~  
右の図のようなひし形 A B C D の面積を求めなさい。

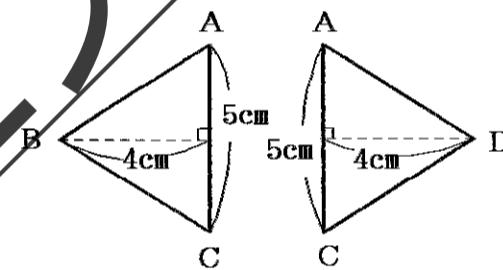


## ④ 説明 ④

- ひし形の対角線は、それぞれのまん中で  
垂直に交わりますから、ひし形 A B C D を対  
角線 A C で分けると、右の図のように  
底辺 5 cm、高さ 4 cm の三角形  
が 2 つできます。  
ですから、ひし形 A B C D の面積は、次  
のようにして求められます。

$$(5 \times 4 \div 2) \times 2 = 20$$

答え  $20\text{cm}^2$



- ひし形 A B C D の面積は、右の図の長方形  
E F G H の面積の半分です。

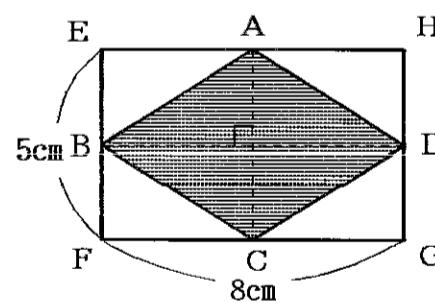
このことから、ひし形 A B C D の面積は、次  
のようにして求めることもできます。

$$5 \times 8 \div 2 = 20$$

答え  $20\text{cm}^2$

長方形 E F G H のたて E F 、横 F G の長さは、  
それぞれひし形 A B C D の対角線 A C 、 B D と  
同じ長さですから、ひし形の面積は

ひし形の面積 = 2 つの対角線の長さの積 ÷ 2  
で求められます。



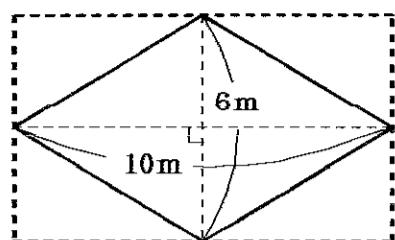
④ さあ、トレーニングをやっていこう。

## ◆◆◆ トレーニング ◆◆◆

類題 7130

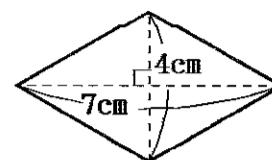
- 1 (1057) ⇨ 類題 7130 P.16 の 4 行目～P.16 の最後  
次のひし形の面積を求めなさい。

(1)



(式)

(2)



(式)



<sup>せき</sup> 2つの対角線の長さの積を2でわれば、ひし形の面積が求められるんだね。

2 (1058) ⇨類題7130 P.16の4行目～P.16の最後

2つの対角線の長さが、次のようになっているひし形の面積を求めなさい。

(1) 3cm, 8cm

(式)

(2) 4.5m, 6m

(式)

(3) 4m, 8.5m

(式)

(5) 13cm, 12cm

(式)

答え



<sup>めんせき</sup> ひし形の面積は、もうすらすら計算できるね。では、答え合わせをしよう。

3 (1059) ⇨類題7130 P.16の4行目～P.16の最後

右の四角形A B C Dの面積を、次の順に考えて求めな

さい。

(1) 長方形E F G Hの面積は、四角形A B C Dの面積の何倍ですか。

[ ]

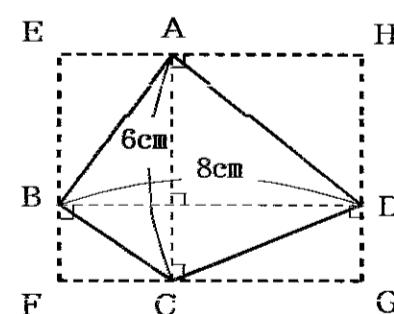
(2) 長方形E F G Hのたて、横の長さは、それぞれ何cmですか。

① たて [ ]

② 横 [ ]

(3) 四角形A B C Dの面積を、1つの式に書いて求めなさい。

(式)



答え



<sup>イーエフジーエイチ</sup> 長方形E F G Hのたて、横の長さは、それぞれ四角形A B C Dの対角線A C, B Dと同じ長さだから、2つの対角線が垂直に交わる四角形の面積も、ひし形と同じように

<sup>すいちょく</sup>

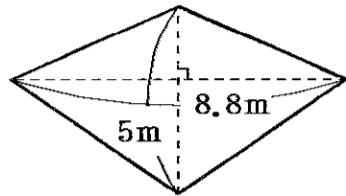
<sup>エーピーシーティー</sup>

<sup>めんせき</sup> ひし形と同じように

2つの対角線の長さの積 ÷ 2  
で求められるんだよ。

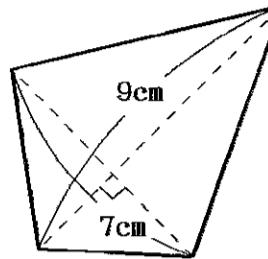
- 4 (1060) ⇒ 類題 7130 P.16 の 4 行目～P.16 の最後  
次の四角形の面積を求めなさい。

(1)



(式)

(2)



(式)

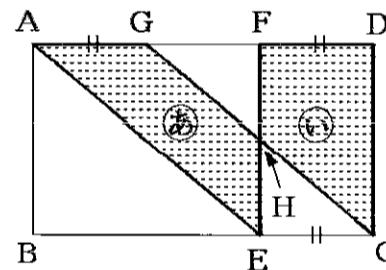
ここで、答え合わせをしよう。まちがったところは、きちんと直しておこうね。

説明をしっかり読んでいこう。

#### 面積を比べる

右の図の ABCD は長方形で、AG, EC, FD の長さはみんな同じです。

ⒶとⒷの面積を比べなさい。



#### 説明

・ Ⓐの面積は

(平行四辺形 AECG の面積) - (三角形 HEC の面積)  
で、Ⓑの面積は

(長方形 FECD の面積) - (三角形 HEC の面積)

です。

平行四辺形 AECG と長方形 FECD において

平行四辺形 AECG …… 底辺の長さ, 高さ

↑                      ↑  
同じ                  同じ  
↓                      ↓

長方形 FECD …… 横の長さ, たての長さ

ですから

(平行四辺形 AECG の面積) = (長方形 FECD の面積)

です。

- 面積が同じである図形(平行四辺形 AECG と長方形 FECD)から、共通の部分(三角形 HEC)をのぞいた残りの部分の面積は同じになります。

ですから、Ⓐの面積とⒷの面積は同じになります。

Ⓑ Ⓛの面積とⒶの面積が同じになることはわかったね。では、トレーニングをしよう。

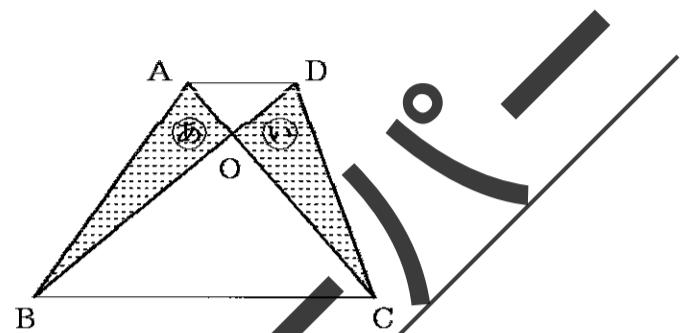
## トレーニング

## 類題 7140

Ⓐ (1061) ⇨類題 7140 P.16 の 4 行目～P.16 の最後  
右の図の A B C D は台形で、O は 2 つの対角線が交  
わった点です。このとき、次の問い合わせに答えなさい。

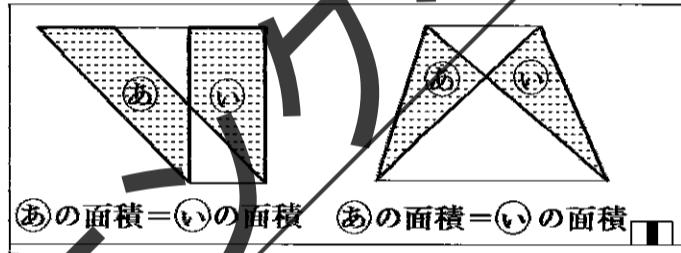
(1) 三角形 A B C と 三角形 D B C の面積は同じになりますか。  
[ ]

(2) 三角形 Ⓐ と Ⓑ の面積は同じになりますか。  
[ ]



Ⓑ Ⓛ と Ⓜ も面積が同じになるんだね。

右の関係を使って、  
次の問題をといて  
いこう。

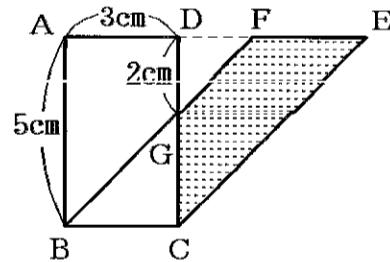


Ⓑ (1062) ⇨類題 7140 P.16 の 4 行目～P.16 の最後  
次の問い合わせに答えなさい。

(1) 右の図で、A B C D は長方形、B C E F は平行四辺  
形です。

黒くぬっている部分の面積を求めなさい。

(式)



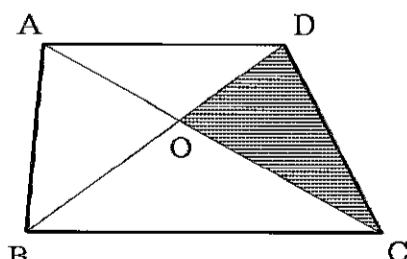
答え \_\_\_\_\_

(2) 右の図で、台形 A B C D の面積は  $25\text{cm}^2$ 、三  
角形 A D O と 三角形 B C O の面積の和は  $13\text{cm}^2$  です。

黒くぬっている部分の面積を求めなさい。

(式)

答え \_\_\_\_\_



Ⓑ 答え合わせをしよう。

# 面積の求め方のくふう

P.20~P.23

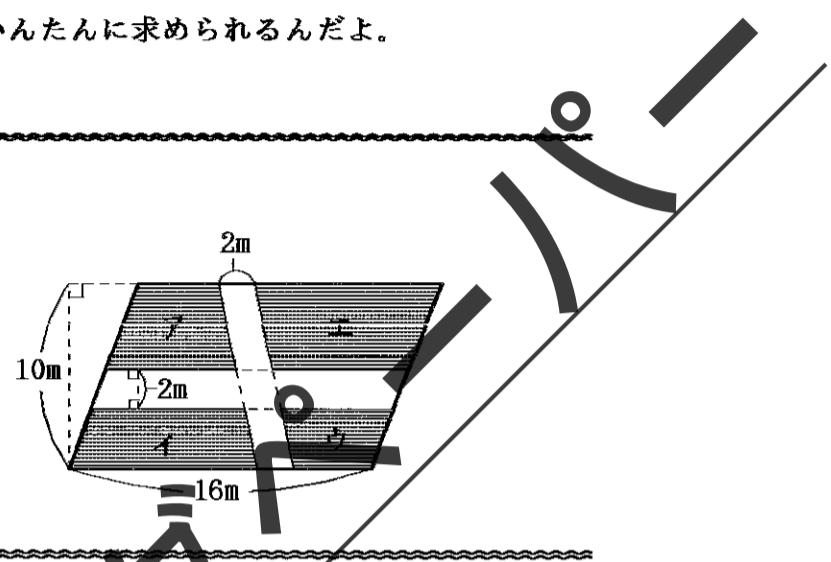
図 次のような面積は、くふうしだいでとってもかんたんに求められるんだよ。

くふうして面積を求める

底辺が 16 m、高さが 10 m の平行四辺形の形をした土地があります。

この土地に右のように道をつけて、道をのぞいた部分ア、イ、ウ、エをしばふにしました。

しばふ全体の面積を求めなさい。



## 説明

### 《考え方1》

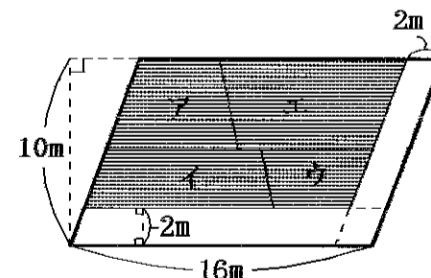
- 全体の面積から道の面積をひくと、しばふ全体の面積が求められます。
- 道の面積は、次の式で求められます。  
 $(\text{ななめの道の面積}) + (\text{横の道の面積}) - (\text{道の重なった部分の面積})$
- ななめの道、横の道、道の重なった部分は、すべて平行四辺形で、面積はそれぞれ次のようにになります。  
 $2 \times 10 = 20 (\text{m}^2)$ ,  $16 \times 2 = 32 (\text{m}^2)$ ,  $2 \times 2 = 4 (\text{m}^2)$
- このことから、道の面積は、 $20 + 32 - 4 = 48 (\text{m}^2)$  になります。
- 全体の面積は、 $16 \times 10 = 160 (\text{m}^2)$  ですから、しばふ全体の面積は、次のようにになります。  
 $160 - 48 = 112$

答え  $112 \text{m}^2$

### 《考え方2》

- 上の図の平行四辺形から、ア、イ、ウ、エの部分を切り取って、右の図のようにならべると、平行四辺形ができます。
- この平行四辺形は  
底辺が  $(16 - 2) \text{ m}$ 、高さが  $(10 - 2) \text{ m}$  ですから、しばふ全体の面積は、次のように求めることができます。

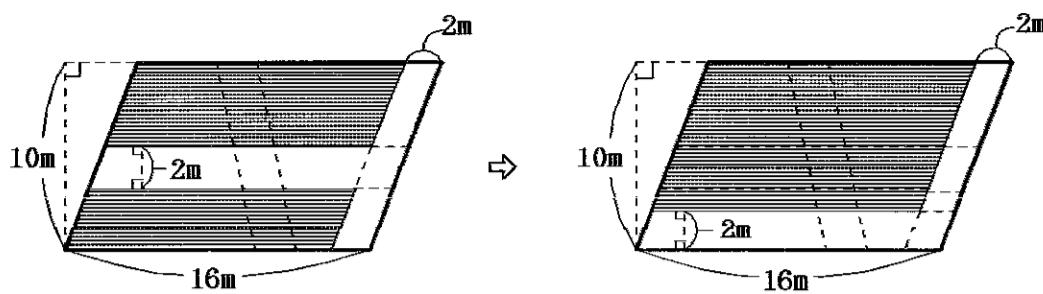
$$(16 - 2) \times (10 - 2) = 112$$



答え  $112 \text{m}^2$

### 《考え方3》

- 底辺と高さがそれぞれ同じである平行四辺形の面積は同じであることを使って、下の図のように、道をかた側へよせて考えると、しばふ全体を 1 つの平行四辺形とみることができます。



• ですから、しばふ全体の面積は、次のように求めることができます。

$$(16 - 2) \times (10 - 2) = 112$$

答え 112m<sup>2</sup>

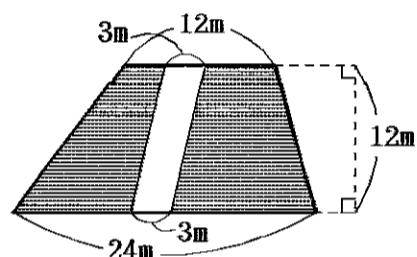
### 蝶々トレーニング蝶々

類題 7150

1 (1063) ⇒ 類題 7150 P.20~P.23

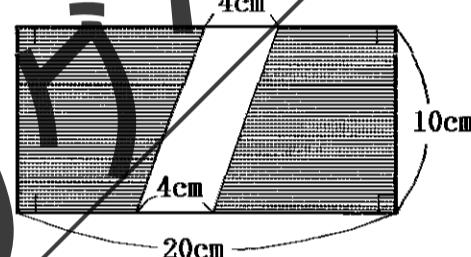
次の図で、黒くぬっている部分の面積を求めなさい。

(1)



(式)

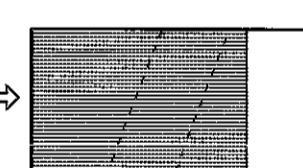
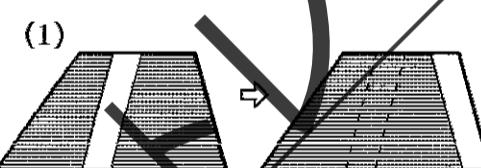
(2)



答え

答え

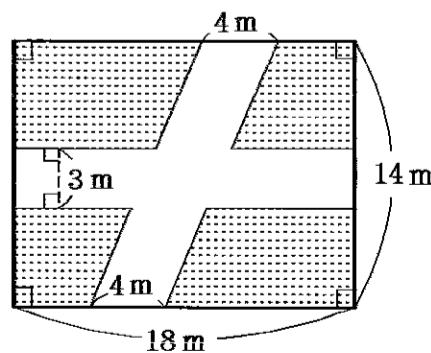
② 白い部分をかた側へよせて考えると、(1), (2)はそれぞれ、次のようになるね。



2 (1064) ⇒ 類題 7150 P.20~P.23

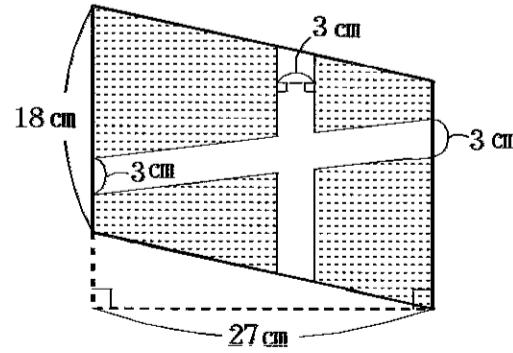
次の図で、黒くぬっている部分の面積を求めなさい。

(1)



(式)

(2)



(式)

答え

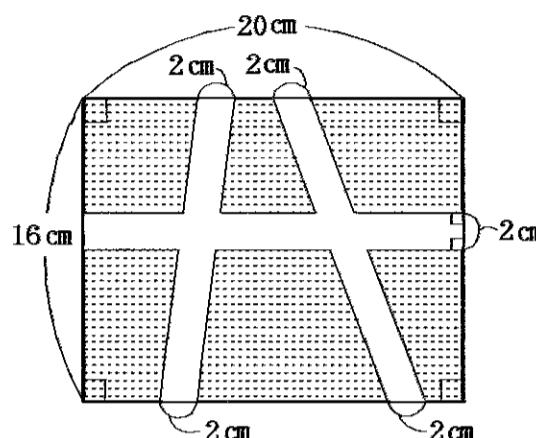
答え

ここで、答え合わせをしよう。次の問題は少し複雑だけど、白い部分をかた側によせるという考え方をすれば、計算はかんたんだよ。

3 (1065) ⇒類題 7150 P.20~P.23

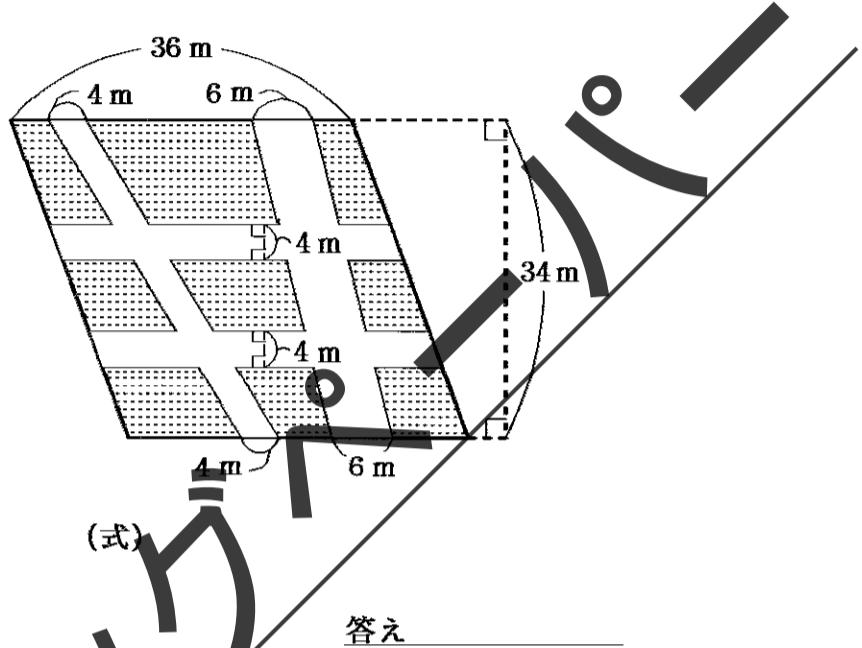
次の図で、黒くぬっている部分の面積を求めなさい。

(1)



(式)

(2)



(式)

答え \_\_\_\_\_

おちついてとくことができたね。合っているかな。

続けてがんばろう。

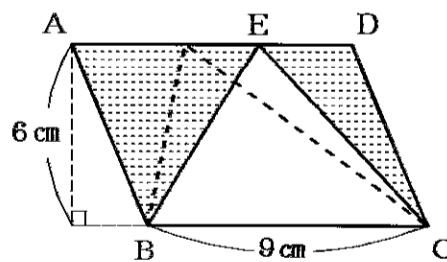
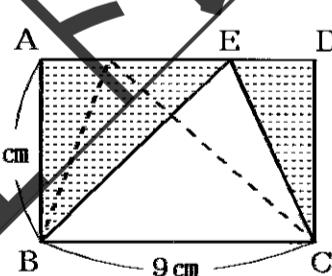
～～～(1) 2つの三角形の面積の和(2)～～～

次の図で、(1)は長方形、(2)は平行四辺形です。

エーピーイー シーティー めんせき  
三角形A B EとE C Dの面積の和を求めなさい。

(1)

(2)



説明

- 点Eが辺ADの上のどこにあっても、三角形EBCの面積は同じです。  
全体の面積から、三角形EBCの面積をひいて、三角形ABEとECDの面積の和を求めます。

(1) 長方形ABC D、三角形EBCの面積は、それぞれ

$$\text{長方形ABC Dの面積} \dots\dots 6 \times 9 = 54 (\text{cm}^2)$$

$$\text{三角形EBCの面積} \dots\dots 9 \times 6 \div 2 = 27 (\text{cm}^2)$$

ですから、三角形ABEとECDの面積の和は、次のようにになります。

$$54 - 27 = 27$$

答え  $27\text{cm}^2$

(2) 平行四辺形 A B C D, 三角形 E B C の面積は、それぞれ

$$\text{平行四辺形 A B C D の面積} \cdots \cdots 9 \times 6 = 54 (\text{cm}^2)$$

$$\text{三角形 E B C の面積} \cdots \cdots 9 \times 6 \div 2 = 27 (\text{cm}^2)$$

ですから、三角形 A B E と E C D の面積の和は、次のようにになります。

$$54 - 27 = 27$$

答え  $27\text{cm}^2$

- 上のことから、次のことがわかります。

点 E が辺 A D の上のどこにあっても、三角形 A B E と E C D の面積の和は、長方形や平行四辺形の面積の半分になります。

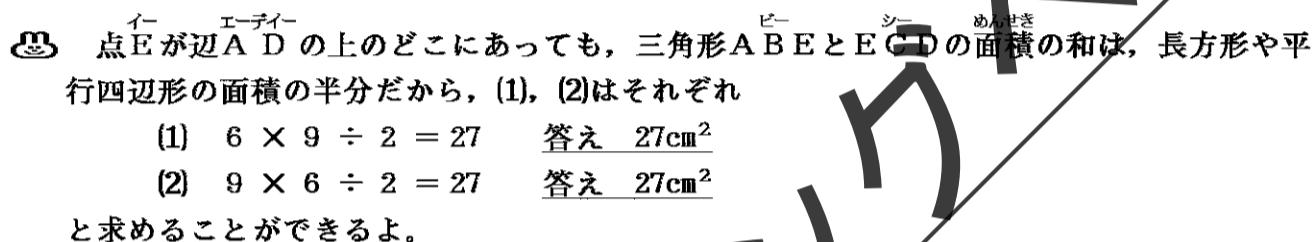
- 三角形 A B E と E C D の面積の和が、長方形や平行四辺形の面積の半分になることは、次のことからもわかります。

点 E が辺 A D の上のどこにあっても、三角形 E B C の面積は

(1)では、長方形 A B C D の面積の半分

(2)では、平行四辺形 A B C D の面積の半分

ですから、長方形 A B C D や平行四辺形 A B C D から、三角形 E B C をのぞいた残りの部分（三角形 A B E と E C D）の面積の和も、長方形や平行四辺形の面積の半分になります。

- 
- 点 E が辺 A D の上のどこにあっても、三角形 A B E と E C D の面積の和は、長方形や平行四辺形の面積の半分だから、(1), (2)はそれぞれ
- (1)  $6 \times 9 \div 2 = 27$  答え  $27\text{cm}^2$   
 (2)  $9 \times 6 \div 2 = 27$  答え  $27\text{cm}^2$
- と求めることができるよ。

### ◆◆◆ トレーニング ◆◆◆

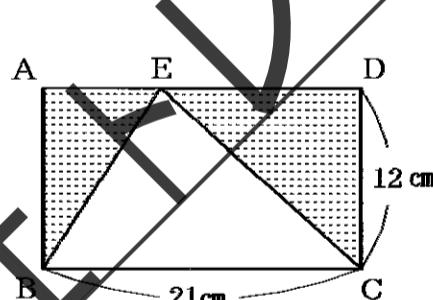
### 類題 7160

4 (1066) ⇨ 類題 7160 P.20~P.23

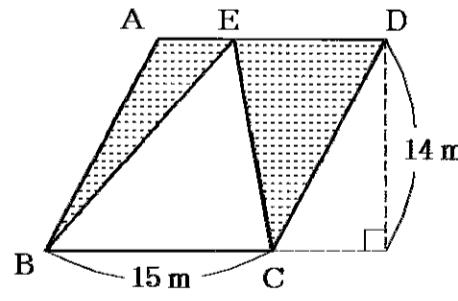
次の図で、(1)は長方形、(2)は平行四辺形です。

三角形 A B E と E C D の面積の和を求めなさい。

(1)



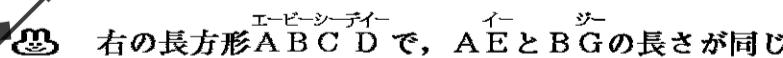
(2)



(式)

答え \_\_\_\_\_

答え \_\_\_\_\_

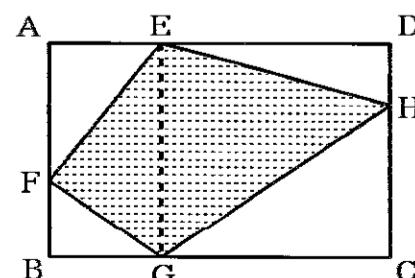
- 
- 右の長方形 A B C D で、AE と BG の長さが同じ

とき、点 F が辺 A B の上のどこにあっても

$$\left( \begin{array}{c} \text{三角形 E F G} \\ \text{の面積} \end{array} \right) = \left( \begin{array}{c} \text{長方形 A B G E} \\ \text{の面積} \end{array} \right) \div 2$$

で、点 H が辺 D C の上のどこにあっても

$$\left( \begin{array}{c} \text{三角形 E H G} \\ \text{の面積} \end{array} \right) = \left( \begin{array}{c} \text{長方形 D C G E} \\ \text{の面積} \end{array} \right) \div 2$$



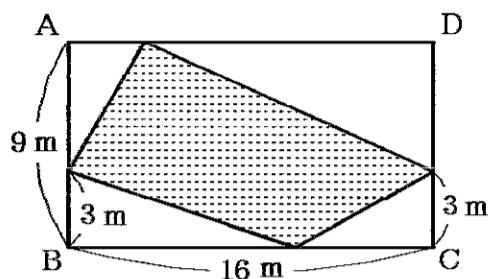
だね。だから、黒くぬっている部分の面積は、次の式で求められるよ。

$$(\text{長方形 } A B C D \text{ の面積}) \div 2$$

- 5 (1067)  $\Rightarrow$  類題 7160 P.20~P.23

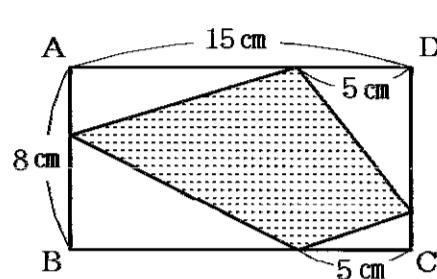
次の図の長方形 A B C D で、黒くぬっている部分の面積を求めなさい。

(1)



(式)

(2)



(式)

○ 答え

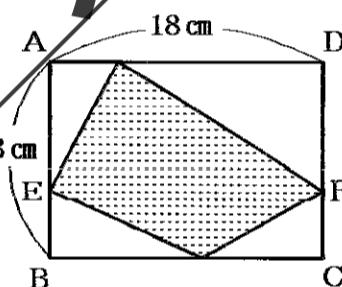
② 長方形の面積を半分にすれば、黒くぬっている部分の面積が求められるんだね。

- 6 (1068)  $\Rightarrow$  類題 7160 P.20~P.23

右の図の長方形 A B C D で、AE と DF の長さは同じです。

黒くぬっている部分の面積を求めなさい。

(式)



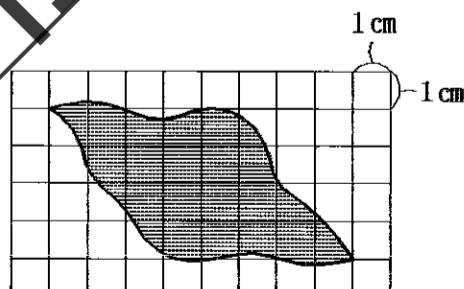
○ 答え

③ 次に、およその面積を求める学習をしよう。2通りの方法があるよ。どちらもきちんと理解しよう。

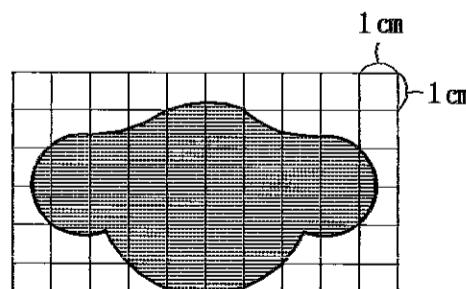
～～～○およその面積を求める○～～～

次の図で、曲線で囲まれた形のおよその面積を求めなさい。

(1)



(2)



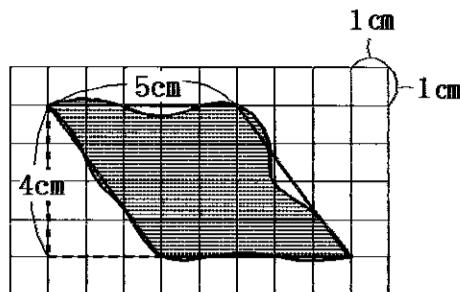
## ● 説明 ●

(1) 曲線で囲まれた形をだいたい平行四辺形とみて面積を求めます。

- 平行四辺形の底辺、高さはそれぞれ  
底辺…約 5 cm、高さ…約 4 cm  
です。

• 平行四辺形の面積 = 底辺 × 高さ ですから、  
およその面積は、次のように求められます。

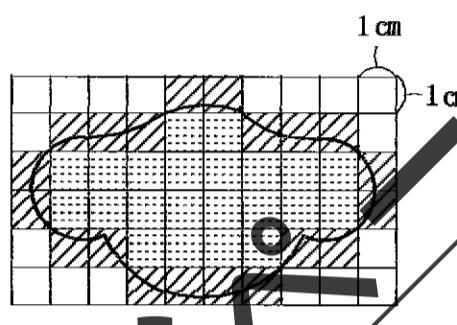
$$5 \times 4 = 20 \quad \text{答え 約 } 20 \text{ cm}^2$$



(2) 完全でない方眼を  $\frac{1}{2} \text{ cm}^2$  として、面積を求めます。

- 完全な方眼………22 こ
- 完全でない方眼………20 こ
- 完全な方眼 1 ここの面積は  $1 \text{ cm}^2$  ですから、  
およその面積は、次のように求められます。

$$22 + \frac{1}{2} \times 20 = 32 \quad \text{答え 約 } 32 \text{ cm}^2$$



では、トレーニングにはいこう。

## ◆◆◆ トレーニング ◆◆◆

7 (1069) P.20～P.23

右の図で、曲線で囲まれた形のおよその面積を求めます。次の順に答えなさい。

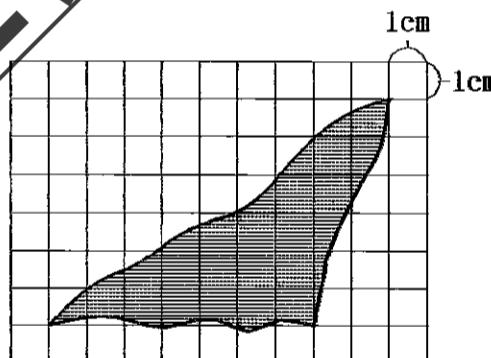
(1) 右の図をどのような形と考えて、面積を求めるべきですか。

[ ]

(2) よりその面積を求めなさい。

(式)

答え



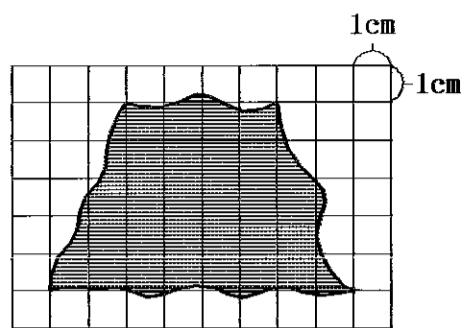
まず、どのような形とみて、面積を求めればよいのかを考えよう。

8 (1070) P.20～P.23

次の図で、曲線で囲まれた形のおよその面積を求めなさい。

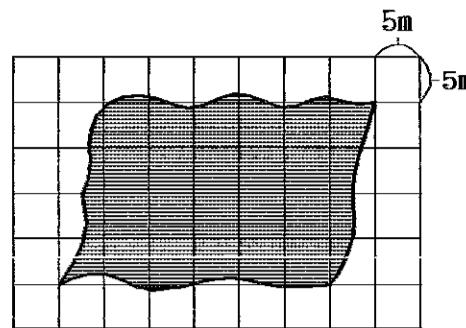
**数育**

(1)



(式)

(2)



(式)

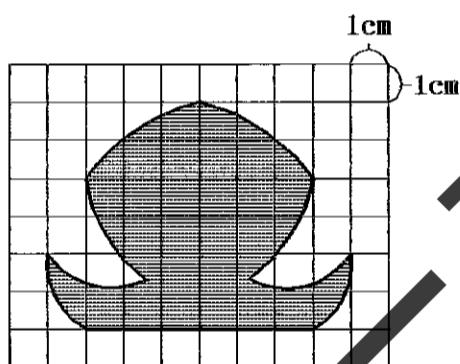
答え

③ 完全な方眼の面積は  $1\text{cm}^2$  だね。完全でない方眼の面積を  $\frac{1}{2}\text{cm}^2$  として、全体の面積を求めよう。

④ (1071) P.20~P.23

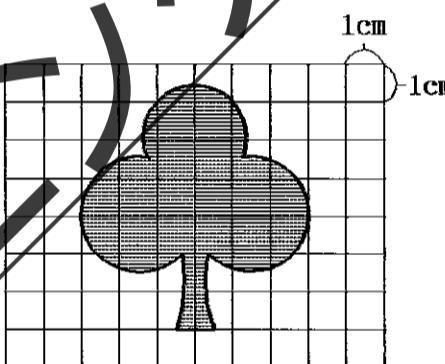
次の曲線で囲まれた形のおよその面積を求めなさい。

(1)



(式)

(2)



(式)

答え

⑤ 数えまちがいはしていないね。一度数えたところは、しるしをつけておくと、いいよ。さあ、答え合わせをしよう。

数学大木